京城日報

五日夕刊
(朝夕刊併せて八頁)

◎西比利亞國境閉鎖 日英武官露國退去說に對し

ブロツキー氏の命令に依り西比利亞の國境は閉鎖されたり之れ日英兩國の武官が露國を去る可しとの風說あるにより之を防止せん爲めなり(露京電報)

◎ツ外相と休戰答書

過激派外相ツロツキー氏は墺國外相ツエルニン伯が休戰提議を爲したるに對して寄書を送り「此の商議は無併合無賠償の原則に依らざる可らず」と宣言せるがツロツキー外相の之を宣言せしは休戰商議開始以來今回を始めとすと(露都電報)

◎參謀本部攻擊說

露都來電に據れば革命委員會は露軍總司令部の參謀本部を攻擊せんが爲め有名なる親衛兵聯隊の豫備兵及び若干の機關銃隊より成る軍隊を派遣したりと傳へらる(倫敦電報)

◎日本に犧牲的勸誘 巴里會議に於て—聯合國より

巴里會議に於て聯合國より日本に對し財政軍需品及び船腹供給等に就き犧牲的援助をなすべく勸誘せり(巴里電報)

◎德川議長重任

德川貴族院議長は本月四日を以て任期滿了の處重任と決定したるを以て公爵は五日午前十時三十分參內宮中南溜の間にて首相代理後藤內相より左の辭令を傳達されたり(東京特電)

正二位勳一等公爵 德川家達
貴族院令第十一條ニ依リ貴族院議長ニ任ス

◎外國語學校改稱 貿易部植民部を增設

文部省は來年度豫算に於て外國語學校を貿易植民學校と改稱し既設學科の外伊太利、西班牙等從來缺けたる語學の普及と共に商業上の技能を有する人物養成の爲め從來の語學の外貿易部及び植民部を置き貿易部は語學と共に商業智識を課し特に海外に活動す可き人物を養成する計畫を發表せり(東京特電)

◉東三省と日支親善 支那公使館一等秘書官 王鴻年氏談

支那公使館一等秘書官王鴻年氏は東京帝國大學出身の少壯外交官にして本邦在勤を命ぜられて以來茲に二年半今次東三省交涉使に任ぜられ近く赴任の途にあり東三省と日支親善に付語つて曰く

▼東三省交涉使 を置き三省の外交事務は從來奉天、吉林、黑龍の三省に各交涉使を置き三省各別に處理し來りたるが新聞の報道に依れば北京政府は今次本省に東三省交涉使を置き三省に亙る外交事務を總括處理せしむるの制度を設けんとするものゝ如く、其眞僞は余之を知らず又余人が其交涉使に任命せらるゝか知るを得ず、新聞紙上にては余に內定せるが如く傳へられ居るも、之れ新聞紙上の辭令たるに過ぎずして余は未だ何の知る處なきが、我東三省に於ける外交事務は、在留外人中、日本人最も多數を占め居るの關係上、其大部分は日本に對する者にして、從來の例に徵すれば、同方面に於ける日支人間の紛爭は

▼各種の問題に 亙りて多端を極め、日支親善の實を擧ぐるに甚だ遠き者あり、此の如きは日支間の關係に省み、余の最も遺憾とする處なるが熟々其原因に遡りて稽ふれば、日支兩國人が言語を異にし、又風俗習慣を同ふせず意思疏通上缺くとする所なるも要するに在留日本人の多くは、支那人に對して同情の念に乏しきは、其由來たる所以ならずんばあらず、若し夫れ在留日本人にして自己の權利を主張すると同時に一面支那人の權利も亦之を尊重し支那人の面目を重んじ自ら是を是とし非を非とするの雅量を示し平常交るに

▼同胞兄弟の情 を以てせば支那人は決して日本人と相爭ふことなかるべく隨つて東三省に於ける日支人は相親善し、總ての外交問題の如きも絕えて見る可からざるに至るや必せり、蓋し日支兩國の關係は密接にして離る可らず滿洲方面のみを限らず其親善、其提携が日支兩國に取りて必要にして有利なることは支那人も亦夙に之を諒解せることは余の知る處なれば也由來東三省に於ける日支外交は日支外交上の全般と稱するも過言に非ず東三省に於ける兩國人の親善は支那全土に於ける兩國人の親善と稱して不可なき以上、東三省に於ける日本人は、先づ支那人の境遇を諒解し、之に

▼多大の同情を 寄與し、之を遇するに眞に同胞兄弟の情を以てせば、親善は自ら成り、敢て法律的權利義務を主張せずして、總ての問題は談笑裡中に圓滿に解決せられ、日支兩國の親善は一層濃厚なる色彩を帶び來るべきや疑ふの餘地なし勿論我支那人中にも事理を解せざる者鮮からざるべし卽ち日支人相互の反省によりて日支親交の愈々敦厚を加ふるに至らば蓋し兩國の慶福至大なることを言を俟ざるなり(東京支局)

◉政務總監訪問

山縣政務總監は四日午後三時遠藤秘書官を隨へ東京より歸任したる松川軍司令官及び今回龍山に來任したる金久保步兵第四十旅團長を龍山に訪問せり

◉忠南檢米狀況 石塚忠南道技師談

論山江景方面の穀物檢查狀況を視察し此程歸任せる石塚忠南道技師の談を聞くに新令による檢查標準は從來に比し其程度を高めたる爲當業者中には當初苦痛を感ぜしものありしも漸次其の自覺と檢查員の指導とにより改良せられ

▲合格米を續々 搬出し又は移出するに至り昨今產地よりの出廻り盛んなるに相俟ち檢查は繁忙を極めつゝあり新令に對する各當業者の覺悟と苦心とを見るに籾摺業者は何れも籾乾燥の擴張をなし同時に從來の薄乾は薄乾に改め乾燥の時日を長くし乾方も筵乾は乾燥の斑を免れざるを以て一枚乾として乾燥の齊一と充分なるを期せるの狀況なり故に乾燥は大體に於て其の改善を窺ふに足る次に夾雜物中土砂は稻扱の普及と筵の使用とにより又稗は道當局の本年撲滅を期し農民を督勵せるにより當業者の

▲努力と相呼應 し其の混入殆んど之を見ざるの狀況なり又籾の混入は籾乾燥の良好なる結果籾摺に依り良く除却し得又粳の混濟は粳拔萬石の外小米萬石の增設により小米は仕上萬石の增置により之を減却せると共に斯くの如く設備の完全なると共に調製の改善行はるゝに至れるは喜ぶ可し尙赤米は目下迴著しつゝあるものには極めて少く何れも八十粒以內なり之れ優良種の普及と選種の習慣とに因る可く品質に於ても概ね良好なり斯くして檢查新令の施行と共に同地方の忠南米は漸次改善せらる論山內商店が搬出せるものは

▲群山米に比し三十錢の 商値を呼べり然れば其商街は常に業者に於ける改良に努力せざるものあらず時に又出穀多き爲檢查繁激の餘り時に檢查の雜駁を訴ふる者あれば之等當業者の自覺を促すと共に檢查員に對しても充分の監督をなし尙檢查の統一をも講ずべし生產者に及ぼせる新令の影響にして聞くべきは年を逐ふて農家の玄米調製者及ぼせるに本年新設期よりは檢查程度嚴格となり爲め玄米調製不良にして到底檢查に合格し能はざるが如きものにありては商人を極めて廉價に買收するを以て却つて玄米の

▲調製を不利と し籾の販賣をなすに至れること、なれり、尤も內地人經營農場又は移民を始め良好なる玄米を調製する者は特に價格も高價に販賣し得るの利あるを以て玄米調製を擴張するに至れり然れども米穀檢查の爲農家の玄米調製を阻止するが如きは產米改良の根本義に反するを以て鮮農一般の玄米調製改良を促し其普及を圖らんとす大豆の如きも從來買入其の儘にて搬出せるも今年は何れも萬石唐箕を使用して夾雜物の除去に努めつゝあれば前年のものに比し面目を一新す可し(公州)

◉滿洲に於ける鮮銀 鮮銀理事 大田三郎氏談

東上中なりし鮮銀理事大田三郎氏は五日朝歸任せり、其の談片に曰く今回

▲正金銀行 が永らく滿洲で營業を續けた金券の發行國庫事務並に鐵嶺旅順遼陽三地の出張所を鮮銀で引受ける事となつた、予は之等の要務を帶び東上して居たが、正金銀行との間に於ける交涉協調は頗る圓滿に終つた、コレは現政府の鮮滿經濟統一と云ふ大方針の一部が形をなして現はれたので、別に鮮銀が進んで取つたとか正金が退めたとか云ふやうな角張つた事ではないのである、正金は今後滿洲に於ては其の

▲本然の業務 たる爲替銀行として活動するは勿論近く南洋南米方面に支店を增設し大に發展して行くらしい、予は京城で一兩日中に入京する總裁並に木村理事を待合せ重役會同の後十日頃滿洲に歸任十五日頃から正金銀行より從來其の營業せる國庫事務並に三地の出張所の引繼ぎを受ける事となつてゐる、滿洲に於ける鮮銀は今後正金業務の若干部分の讓受けをなすのと出張所の引繼ぎにより頗る膨大して來る、店の數を云つても朝鮮の十二に對し滿洲はハルビンを入れると十五(間島を除く)と云ふ事になり既に此點に於て超えてゐる、これから大に活動し

▲滿洲發展 のために盡さなければならぬ、正金銀行の鈔券を將來も發行させて置くと云ふ事は金券統一の方針にそぐはぬと云ふのですか、銀券は十二月一日より法貨として通用しなくはなつたが尙ほ存在さして置くがよい、何故なれば大連に於ける重要物產の取引は未だ銀建であるし、又今日俄かに銀券の廢止を行ふやうなことがあると財界に急激な變化を與へて面白くない影響を見ぬとも限らぬ、かうした問題は徐々に解決さするが好いのである、乃ち十二月一日からはその強制通用力を失くし、又

▲都督府の歲入 に銀を用ゐしめぬ事にした、乃で今回は年來の問題たる滿洲に於ける銀建廢止と進めねばならぬ、さすれば自然銀券の通用は縮少し、而して滿洲自體のためにも滿洲の對外貿易關係より見るも頗る必要な金建取引の普及を見る事となるであらうのだ、ア滿洲に於ける鮮銀今後の業務は營口遼陽に見て欲しい、序でに遼陽旅順鐵嶺三地の引繼ぎ並に明年から正金が安東に於て閉店の結果其の業務を鮮銀で讓り受けるのはその貸出しも預金も全部含んでゐる、東京で聞いた所では四地共に大して問題になつてゐる

▲貸出し もないらしいから殆んど議論もなく授受はすむと思ふ、又貸出も預金も利率などは正金時代其の儘に繼承する事となつてゐる

◉朝鮮の鑛業界 戰亂の影響

戰爭及び物價の騰貴が朝鮮鑛業界に及ぼせる影響如何と云ふに歐洲戰亂勃發當初に在りては從來海外より供給を仰げる鑛業諸機械材料等の缺乏供給の不確實及び價格の暴騰等に依り操業上の困難を來したるも其後海運業造船業を始め各種製造工業の勃興を促せると交戰各國に於ける鑛產物の需要增大に伴ふ價格の暴騰とは朝鮮の斯界に對して著しき刺激を與ふるに至れるが朝鮮鑛產物の大宗たる金の生產前途に對しては尠からざる危惧を懷かしめしも金鑛產額の大部分は外國人の經營に屬する特許鑛山の產出にかゝり此等鑛山の多くは既に完備せる設備の上に操業せるものなるを以て事實上著しき影響を受けず只土狀黑鉛は船腹の不足に依り戰前に比し著しく輸出數量を減せり又鐵鑛は其大部分を八幡製鐵所に供給せる關係上價格昂騰の好影響を受くる事甚く爲に操業上多少の困難を免れざりしも製鐵業の隆盛に伴ひ漸次好況を呈するに至るべし移出石炭は我海軍艦艇の燃料に供する平壤無煙炭の外殆ど全部を占め我海軍の戰時活動は著しく需要を增加したり加之其需要は將來益々增加の趨勢あるを以て之に應せむが爲大正六年度以降三箇年に亘り從來平壤鑛業所一箇年十萬噸の採炭力を有する現在設備を三十萬噸の採炭設備に擴張するに決し目下工事進捗中なり要するに歐洲戰亂勃發の當初に於ては多少の杞憂を懷かしめたる點無きにあらざりしも今や漸次順調に向ひ前途益々好況を呈するに至らんか

◉京管の異動 淘汰には非ず

京城管理局にては十二月一日附を以て全線各主要驛長の更迭を行なひ並に驛員の進級を發表したるが同時に元山派出員藤野滿和大邱驛長滿野一道馬山驛長中島雄二木浦驛長天谷操の諸氏其他の本職を免じたるため突如大淘汰を斷行せりとて從事員中には若干動搖を見居れるが如きが右に付責任ある京管主腦者は主要驛長其他の現職を免じたるは退社を命せしに非ず其の現職を免じ當然運輸課勤務とせしものにして何等馘首を行ひたるに非ざる也唯諸氏が今後自ら他に求職して退職し若くは病氣のため辭せんとすれぱそは任意の退社にして別問題なるも滿鐵として當分俸給も給與し社員たるに於て他と隔差を設けざるなり、と語れるが主要驛長並に機關庫主任保線等に關係する職員の大異動は以上を以て打切りとするものゝ如し

□大阪財界見聞

▲堂島四分押記內容 堂島米穀取引所にては去月二十一日定時總會を開き本年一割五分特別一割九分の株主利益配當案を附議せる事既報の如し今當期間の營業成績を聞くに米價は前期に引續き強硬を以て繼續し來りたる矢先偶々九月末に及び全國各地に亘り空前の大嵐を惹起したるため遽かに買煽り相場の高騰と同時に出來高を激增すべき機運を示したるも十月は物價調節令の發布に遭ひ忽ち相場の萎靡に一頓挫を來し極端なる買氣を沮喪せしめたる出來高に出來高の急激を告げ相場は實質上より今尙ほ相當高値を維持し居れるも之がため同所成績に對し一方ならず打擊を與へたるが如し、而も當所の豫想は大體に於て適中し本期營業日數百五十日間に於ける出來高五千十六萬八千六百石を算し一日平均三十三萬四千四百五十石にして之を前期に對比すれば出來高總數に於て百八十二萬二千七百石一日平均二萬千六百五十石の激減を示したるも相場の高値を維持せる丈に手數料收入は前期の三十七萬五千五百十八圓五十六錢なりしに對し今期は四十八萬九千百五十三圓八十二錢を計上し實に十一萬三千八百三十五圓の激增を告げ斯收入上よりすれば空前の好成績を作りたる次第にて結局當季利益金四十二萬四千九百餘圓を計上し前期に比し四分增配に內決したる次第一分程度の增配を行ひ得べき都合なるも本期は曩に死亡せる商倉理事長及び本出理事に對し慰勞金を贈呈せざるべからず且つ三割五分とせば一株につき八圓七十錢と端數を計上するあり三割四分(一株につき八圓五十錢)とし所內留保に努めたる次第なりと

▲恰豐洋行整理未決 恰豐洋行の整理は着々進行し大體に於て落着の運びとなり債權者の配當は約三割をなし得べく勿論同行の營業は此儘繼承し得る段取となり之に對し債權者側及び本人側も異議なき樣傳へられつゝあるが最近の綿絲界の狀勢は本人側の心理狀態に變動を來し一時無條件整理を託せし委員側に向つて此際營業繼續の外幾分の資金を殘し得る程度の償還を以て債權者の承認を得たき旨提議したる由にて要するに未だ全然解決の運びに到らざる模樣なり蓋し整理發表當時の解合值段と現時の綿絲市價は約五十圓の差ありて假りに時價を以て計算せば債務額に非常の差異を生ずるより斯く主張したるものゝ如し(大阪支局一記者)

◉辭令

四日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府醫院醫官 正七位 有馬英二
任朝鮮總督府醫院醫官兼醫學專門學校教授 敍高等官六等七級俸下賜

◉正副會頭人選 副會頭物色多樣

京城商業會議所評議員の初會議は既記の如く六日開會同日會頭副會頭及び常議員の選擧を行ふ筈なるが右に就目下評議員間に於ける新會頭及び副會頭の人選を聞くに會頭には衆口一致の姿にて現會頭たる原田金之祐氏を推すことに決定せるが副會頭の人選に就いては其間多種多樣の異論あり或は活動家を推すべしと言ふもの或は中村再造氏を適任と做すもの又會頭は常に不在勝なるを以て相當實力を有するものを擧ぐべしと唱ふるものあり而して活動家推薦側は專ら釘本藤次郎氏に囑目し既に十二三人は釘本氏說を固持し頻りに運動中なりと又學識實力家推薦側としては京城電氣會社の木本倉二氏を以つて適任者と做し孰れも密々運動中なりと傳へらる

◉學校養蠶實習 本年中各

道に於て養蠶を實習せしめたる學校數は合計五十一校、實習生徒數は春夏秋三季を通じて延人員二千百八十五人、掃立枚數合計百九枚收繭合計二十七石二斗九升五合販賣價格一千八百五圓六十八錢にして之が充用桑園一萬九千八百十六坪なりしと

◉國費植栽狀況 昨年度

春季京畿道林業植栽狀況を聞くに植栽面積八百二十一町に對し二百二萬九千二百七十本を植栽したるが樹種の主なるものは松ニセアカシヤ、クヌギ、白楊樹等なりと

◉米國武官來鮮 米國大使

館附武官ボールドウイン大尉は朝鮮視察のため六日夜南大門驛着入京七日元山に赴き八日引返して大田に向ひ一泊九日木浦十日大田十一日馬山に往復し十二日夜釜山發にて內地に歸還する由

◉堀技術局長入京 滿鐵技術局長心得堀三之助氏は四日馬山より入京滯京中なり

紅葉燃ゆ九州 山縣五十雄

無偉兒机下、意外の處にて意外の人に逢ふものあり。今朝高麗丸より上陸して門司停車場に鹿兒島行列車の出發を待つの間、圖らずも臺灣總督府學務局長隈本繁吉氏及び夫人に出會へり。氏は統監府時代に朝鮮の學政に與りし人、京城在住三年に及びしかば、氏を記憶する人は猶ほ多からん。氏は今回官命により外遊の途に上るべく、恰も今朝臺灣より到着せられしも、生は久しく氏と相知れど、近來互に音信を絕ちて最近の消息につきては知らざりしが故に、かく邂逅せんとは夢想だにせざりし所、喜悅の情一層切なるものあり、破顏握手、舊を談じ、新を語りて盡くる所なし、唯發車の迫るを奈何にせん。

寒き朝鮮より來れる生は內地は暖しといひ、暖き臺灣より來れる隈本氏は寒しといふ。いづれも眞實を語るなれど、同一の氣候を感ずる所の正反對なるは面白からずや。吾人が世事人事の觀察皆斯の如しと思ふ。

九州は今や晩秋、闌なるの時なり。野は既に枯れんとすれど、山は猶ほ青く、紅葉燃ゆるが如くにして其美言ふべからざるものあり荒涼たる朝鮮の山河に慣れたる眼は此美觀に飽くを知らず、かく筆を執りつゝも屢々眼を窓外に轉ずるを禁ずる能はざる也。(九州線列車內に於て十二月三日)

人事消息

▲松永道長官 五日朝水原へ出張
▲平井三男氏(總督府事務官) 四日附を以て三日間開城府へ出張を命ぜらる
▲野田忠藏氏(總督府技師) 四日附を以て三日江原道春川へ出張を命ぜらる
▲赤星鐵馬氏(實業家) 五日午前水原へ
▲須藤五百三氏(海州慈惠醫院長) 四日午前入京山本へ
▲小西春雄氏(鮮銀奉天支店長) 五日朝入京不知火へ
▲青柳元山憲兵分隊長 四日午後內地へ
▲美濃部義州駐在憲兵分隊長 四日午後新義州へ
▲本多近造氏(神戶商業會議所書記) 四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲竹內保三郎氏(久原鑛業會社員)▲松下卯左衛門氏(同技師) 同夜入京へ
▲藤田臣國氏(矢島會社員)▲齋藤兵太郎氏(久原鑛業會社員) 五日夜入京天眞樓へ投宿の筈

露西亞 何故混亂するか(三)

露西亞の首都は遂に、再びモスクワに還るであらう(三)

○ダツタン人の汗を追うて雄なる都モスクワに於て、露西亞正教にツアールとなり、國家の上に皇帝となり、恩威並び行はれ御代萬代を謳はれたロマノフ王家第一帝イワン帝より僅に三百年にして、早くニコライ二世帝を以て、殆ど問題にならぬ敗なき最後の遺倒を招いたのは、何に因するであらうか人心の乖離—それも亦甚しいではないか?けれど此處にも宇宙に偶然なしの眞理がある、然して此處に注意して考へなければならない內容がある。

○ペートル大帝の偉業、その威武四隣を壓した光榮は、所さしたもので有つた、而もツアール、イワン一世の聖都モスクワよりペートルの新都に遷都した事實は、ツアールとして露西亞の皇帝として、ロマノフ王家の首長として、策を得たものでは無かつた。吾人はロマノフ家に對する人心乖離がまづ或は此處に因して居るのではないかと思ふので、倫ほ所謂知識階級のツアーリズム打破の運動に、理由を見出さしむる關隙を生じさしたのも、こんな處に因果を持つ樣にも思ふのである。

○ツアールハは今やセザールの轉訛だとさへ傳へられ、專ら皇帝の意に取扱はれてゐる、けれど、素と宗敎上の位であり、その上に卽してゐるものであるからには、この特別の國民宗教を離れては、ツアールはないのである。露西亞はこの意味から云つて、宗敎建國—ツアール建國の國とも云はるべき國體であるのである。

○イワン帝は、ダツタン人の汗を遁走せしめ、寧ろ宗教上の吾高位置を獲て、モスクワに於て、露西亞に君臨したのである、そしてクレムリンの王宮の障壁內に、空高くワシリイ・ブラーゼンノイの聖堂(聖母保護聖堂)を建て、同時に宗敎上に正敎の王となり、ツアールと稱せられたのである、そして『ブラウオスラウヌイ』(正敎)に對する保護と邪教に對する戰とを誓つたのである(あきら生)

本紙定價 △一部金二錢五厘 △一ヶ月金五十錢 [illegible]
廣告料金 [illegible]
京城太平町通一丁目 發行所 京城日報社 電話 [illegible]

救はれた火田民
鑛業が盛んになつた咸南の奥地

咸鏡南道に於ける各種鑛業の發展は地方開發上にも經濟上にも好影響を齎らしつゝ有るが就中注目すべきは火田民に生業が與へられた事である端川、豊山、甲山、三水、長津等の諸郡は

▽山深く交通の便 極めて少い爲め沿海地方が短日月に異常の發展を遂げたにも拘らず依然として原始的で住民は生産しても自由に交易が出來ず文明の空氣に觸れやうとしても天然の障壁に隔られてゐるから夏は山を燒いて黍や馬鈴薯を作り冬は居して收穫物を喰ひ斯くて三四年して火田の收穫力が衰へると山深く進み入つて木を截り倒しては火田を作る其結果

▽北鮮の遺利とも 謂ふ可き千古斧鉞を加へられざる深林帶は瞬く間に一木一草を止めず山野は徒らに荒廢して了ふ道當局及び警務部では極力之が撲滅を計つてゐるが當局の追窮が激しければ激しい丈け彼等火田民は益々山深く分け入る爲手の施す術もなかつたが數年前からコールブラン會社の手に依つて採鑛され更らに本年から久原鑛業會社の經營に移つた甲山郡の甲山銅山が

▽大規模に採鑛 さるゝに至るや此等原始的の經濟狀態にあつた地方も始めて勞力の需要が起つて最近に於ては千數百の人夫が毎日採鑛や運搬に從事する爲め經濟狀態が急激に膨脹し從來穴明錢本位であつた地方の馬子が洒落で十圓紙幣を投げ出すと言ふ樣な大景氣になり之に伴つて惠山鎭街道が開通し久原の自動車が運ひ自轉車の往復すら自由になつたから未だ曾て見た事のなかつた旅人の姿を見る事さへも珍らしくなくなつた、斯樣に地方の發展が急激で

▽勞働者の需要 殖えた結果永年深山に深山に分け入つて山を荒して居た火田民は山を降つて甲山に集まり何れも人夫や鑛夫や運搬等に從事する樣になつた爲め當局は咸南の遺利を增進する上に於て地方を開發する上に於て慶ぶ可き現象だと言つて大いに鑛業の發達を翹望してゐる火田民も又子々孫々相繼いで人煙稀疎の山から山を逐んで野獸的の生活を營んでゐたものが急に社會的の空氣に觸れ生活も又複雜になつて來たので大いに喜び生業を勵んでゐる

元貴侍の懲役

京城貫鐵洞居住元李王職贊侍趙三等李弼均(四〇)は阿片吸食罪に依り十二月四日京城地方法院にて懲役四箇月の判決を受けたり

初冬スケッチ ＝大賣出し＝

本町は何と云つても京城での一番賑かな一番道幅の狹い通りである十二月に入つて、どこの店でも大賣出しを初めたので夏以來綿布綿糸の暴騰で主人公の顏色が鈍つて居た連中も時節到來とばかり此三越もおいさひなく日頃の妄念と同道で、あちらの吊物、こちらの反物に手頃な附けし樹坐る金がない時品物のどれも。これもが腿腕に擴く見ねたがいさなれば左師の紅よりもさめにくい物價騰貴の波は大安賣りでも一品二品と見翻つてゐると邦々の端になるが主人の實與に歸りをつけてゐるので早速賣中と交渉が成立する、主人に取りては本町も赤奥なる哉 ——新雄——

神戸商業學校 燒失す

神戸兵庫縣立商業學校は四日午後五時二十分出火燒失七時鎭火せり(大阪特電)

平戸凱旋 南洋方面より

南洋方面警備の任にありたる軍艦平戸は特務艦隊司令官山路一善少將以下を乘せて五日午前十時橫須賀軍港に凱旋せり(東京特電)

天下一品 虎肉料理 凱旋宴で御馳走

山本征虎團が韓戰三十日間北鮮の雪を蹴つて得たる獵物は積んで山をなす程で山本氏の鼻は將に三尺の概があるが五日午後五時三十分から朝鮮ホテルで催された

▲凱旋招待宴 に於ては其の獲物なる虎、野猪、山羊、雁などを料理して知名の士の試食に供した、此れに就き猪原朝鮮ホテル支配人は曰く、虎の肉は臭くて

▲食用に供せ られないと信ぜられて居るが猪でも牛でも虎でも居つて直ぐに食ると臭いもので之れを或る時間中適度の温度の中に貯藏して醱酵させると決して

▲毛臭いもの でもなければ硬いものでもない適度の招待宴では天下一品の虎の料理を出す事となつたので種々工夫の結果先づ虎の肉を六十度計りの室に入れて一晝夜程醱酵させ

▲匂を取る爲 めにペーリーフ胡椒の實なぞの香料を加へた白葡萄に切身を漬けバタで煮た上更らに人蔘ゼロリー芹などを加へて煮るのであるが味は猪よりも輕く鹿よりも

▲齒切が強く 脂肪分は猪よりも多い樣に思はれる色は猪の肉は赤黑いが虎は桃色で感じのよい範をもつてゐる原に角虎を料理した事も喰つた事も適度が始めてゞあるから

▲調理には苦 心をしたが招待された人々の興味は虎の肉に集注されたが吾々も興味を以つて料理する事が出來た當夜の獻立は鮪と松茸を除いた他の料理は總て征虎團の獲物で作つたのであるが其の獻立は

▲鮪刺身西菜▲鵝乎煮汁▲虎肉冷製▲虎肉洋酒蒸煮▲野猪[illegible]▲山羊蒸燒生菜[illegible]氷菓子菓果珈琲

八萬圓 拐帶者捕はる

愛知銀行四日市支店員館敬三郎が八萬圓を拐帶せるは既報の如くなるが犯人館は四日夜濱松にて逮捕せられたり(大阪特電)

汽船衝突 門司港内にて 日之出丸沈沒

四日午後五時四十分若松炭鑛所有の小蒸汽船第二日之出丸(三十六噸)は大阪市備船姫川丸(四百十四噸大阪商船所有船)と門司港内に於て衝突し日之出丸即時沈沒したるが船員一名負傷したる外皆無事なり

衲僧の命取り 臘八の大攝心 空腹と睡魔

監督役に引出され衝き出されて已むことを得ず老師の前に出ると老師は嚴然と威容を整へて炬の如き眼光は四邊を射るばかり、前に置かれた鐵如意は

▣何時飛んで 來るか分らぬ恐ろしい光景である。そして此の飯袋死んで仕舞へなどと云ふ語が幾度も隱寮から洩れて、それが曉の闇を破つてシンと身に泌る長さ三尺幅二寸位に樫を以て作られた法律の杖たる警策は彼等を引出さすべく遺憾なく

▣其の特色を 發揮する。[illegible]ぬと頑張つては黑死になるまで打たるゝものもある。是に於てか絶體絶命、棄てこそ浮ぶ瀬もあれと後舟か、大死一番此處に脚地の見解が立つて來るのである。曉鐘が鳴むと

▣講本の下見 間もなく提唱が始まる、次で午課齋座(晝食)の講本の下見、次で三時頃に茶禮が續いて又喚鐘、藥石(夕食)昏鐘と云ふ順序で攻め立てられる。其の昏鐘後の一炷と云ふのは又一段と精彩を著ける。日西山に沒して歸鳥巣に急ぎ萬象

▣正に夜の衣 に包まれんとする時は一種の感慨が起るものである。況んや惡戰苦鬪して不安の胸、夕陽に射らるゝ時に於てをやだ。正當興廢の好時節、猛に精彩を著け、如何が趣向せんと尤も

▣尊き一炷と せられてある。夜に入つては經行、止定と繰り返し其間六時と十時に二回の喚鐘が出る。經行と云ふのは運動時間で列を爲して禪堂内を廻り止定と云ふのは

▣靜坐の時間 で禪堂長の指揮をする。引磬(小鐘)とを以て大便と小便とは此の間に辨ずることになつて居る。而して止定には警策を持つて監督役は斷へず檢閲をして居眠りや體を動かすものを罰める

▣全く昏沈に 落ちた時分には合掌して警策を受くるのであるが是れも容易にすることは出來ぬ。此の時間は各禪堂で多少の差はあるが普通三十分間位である。終日の奮鬪に疲れ果てた身は夜の更くるに隨つて襲ひ來る睡魔に襲はれるのである。

▣止定と經行 の時間を短縮して坐しては走り走つては坐すと云ふ風にして睡魔をして寢はしめぬやうにする斯くて十一時にもなると四時頃に食べた腹は全く空になつて寒さは刻々に迫つて來る十二月の寒空に禪堂の戸障子は

▣開け放して 火の氣と云つては線香の外ないのであるから無理もないのである。されど十二時頃に運ばれる餽飩若しくは甘粥の御馳走の味に至つては、到底も譬ふる物はない。それより線香二本ばかり坐ると監督役は退いて燈火は細くなる之れからが

▣休息時間で あるけれども寢る事は許されぬ。疲れ果てた勇氣を鼓舞して又夜座に出かけるのである。意志の薄弱な者などは大概中途で腰を折つて逃げ出すものもあるが此の間に於て不動の精神と圓滿なる人格とが養成せらるゝのだ。(をはり)

避難中の轉覆

平北定州郡觀舟面泉浦羅德煥(三七)は所有小舟に外一名と共に乘り十一月十六日午後十一時頃平北宣川郡南面東里芝島の沖合を航行中俄かに暴風浪に襲はれ芝島に避難中轉覆して德煥のみは遂に溺死するに至り船體積荷約百五十圓の損害なりと

二人斬は七年

三重縣生れ元鐵道工夫の内田文五郎(三二)が三月二十一日夜龍山漢江通り鐵道舍宅にて先妻にて當時路切り番人なる丹波つる(二四)とつるの情夫なる古江庄八(三七)の兩名に對し嫉妬より斬りつけて遂につるを殺害し庄八に重傷を負はせたる一件は十一月三十日京城地方法院にて田中裁判長係り水野檢事の立會ひにて文五郎は懲役七年の判決を受けしが同人は之れを不服とし十二月三日同覆審法院に控訴せり

水管自動車の運轉に就いて

此の頃毎日午後一時頃から京城府大門消防詰所の水管自動車が慈惠醫院や東小門外あたり迄往復してゐる、其れが爲め氣の早い人々は出火ではあるまいかと思つて消防所に電話で瀨々と問合せて來るさうだ、是れに就いて消防主任の小熊警部は語る、「一般の人々から出火といふことを是れ位ゐ注意して貰ふのは至極宜いことだが此の自動車の往復は目下自動車運轉手の養成の爲め試演として操縱させてゐるので決して火災の場合に於ける出動で無から安心して頂きたいと」

八雲琴(五) (淪落の女の末路)

人間は愛の權化である人間の眞の幸福は美しき愛を交換し合つて始めて全きを得る殊に初戀の二人の間には唯モッ譯もなく甘い

◆戀と愛が◆ あるのみだつたＡは博士邸の食客として何不自由なく通學したいさ子は快活な女學生として樂しき生活を續けた朝の登校にも一緒に門を出で嬉々として東西に別れたＡが早く歸邸した時もいさ子の姿が見ねぬ時はＡは大きな希望を失つた樣な顏をしたいさ子が早く歸邸した時もＡの姿が見ねといさ子は直ぐに見離なされた樣な氣がしたＡの

◆机の上の◆ 一輪活は纔かにいさ子の手に活けられたいさ子が數學の問題に苦しむ時はＡが先生となつて教もした博士夫妻の温情は二人の孤兒に注がれて實の親にも劣らなかつた博士は支那の革命にも奔走した日本の對外政策の論客としても重視されて居た其他政界の事にも力を至したので席の温まる日とてもなかつた夫人は誠に貞淑な賢夫人であつたが

◆蒲柳の質◆ とて一年の中で半以上は病床の人であつたて其年も暮れて世は陽春の頃となつたＡは二十一歳を迎へいさ子は十八歳となつた二人の幸福は續いたが然し好事魔多しの譬へで茲に一悲劇が演ぜられた二人の戀仲は遂に博士夫妻に看破されたＡは間もなく博士邸より遠けられ再び苦學をせねばならぬ羽目となつたＡが

◆後悔の涙◆ に暮る時は既に遲かつたのであるいさ子がＡの後を慕つて竊かに家出せんとした時は既に嚴重なる監視の身となつて居た賢明なるＡは心を取直して某代議士の書生に住み込んで苦學を續けたいさ子の事は忘れ樣としても忘られる物ではなかつた然し彼は見事卒業の後博士に許をし改めていさ子との結婚を申込む氣で

◆一心不亂◆ に勉強したいさ子に音信する術も無く心ならずも暮して居たいさ子も博士の嚴重なる監督故か何の音信もせなかつた斯くして五月は過ぎたＡはいさ子が必ず自分の卒業する迄乾度待つて居て呉れるものと信じて居た或る日Ａは博士邸のＫに邂逅つたＡはいさ子が卒業後間も無く

◆某軍醫に◆ 嫁いだ事を話したＡは『賣られたッ』と叫んだそして某が其事情を色々話そうとするのを振り切つて自宅に歸つて男泣きに泣いて女の不實を恨んだ此時からＡは飲めもせぬ酒にも親しんだ失戀の深刻な悲痛を忘るべく遊里にも足を入れた一度ならず二度ならず心を取り直して勉強しようともしてみたが最早意馬心猿の男となつた彼は元の謹直な青年ではなかつた

讀者文藝 (一等に五十錢 各種類を呈す)

○對手の出ない縁臺(二等)　洞六　内山　溪思

▲ものは付「間の惡いものは」

▲無心の生徒　元山　良見　默鐘
▲食つた後で[illegible]　[illegible]　鯨年
▲入浴中[illegible]　利川　うらじゅり
▲[illegible]の習弱　大邱　鵜　[illegible]
▲[illegible]　利川　花　[illegible]
▲外出の時に來客　京城　香海　和尚
▲大晦日の宿直　水原　旨風　生
▲休日の雨　龍山　小草　子
▲早朝上長官の來訪　戰楽　きん　太
▲[illegible]を聽かれた時　釜山　小南　潮南
▲居の前で靴破れ[illegible]　元山　明　太
▲[illegible]用合つた先生　報恩　[illegible]
▲[illegible]の挨拶　京城　啄　之　助

溫陽溫泉と旅館 株式會社

溫陽溫泉は過般出湯の試驗に著手し其結果は[illegible]五十度の湯口を發見[illegible]し之が成功を見ると共に浴場改築を行ひた[illegible]

三巴支店開業

仁川淺松太郎氏[illegible]

課題及び募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書叉は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號叉は匿名の外に住所氏名明記の事 [illegible]

商況

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川正米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

綿糸布持合

銘十圓二十錢にて

銑鐵は持合

鐵の需要彌々增進 自給策の上より銑鐵自然強硬

金巾類不味

三三圓見當二百九十

明太子下遡り 今尚三圓八九十錢

下關相場

密柑先高見越 或は五圓近く高値を演出

一作は半作或は三分の一

眞綿漸く氣直る

漸く底入姿

藥品界無活氣

製粉弱保合

田作異常高

買控で閑散なり

褚物十二圓見當に上物十六圓

非の高値を現出 今一段

南大門の廻穀

各地商況

▲群山正米(三日)

大邱穀物(四日)

京城正米

期米雨面觀

仁川期米 五日前場

大阪前引十二圓兵庫十二圓

仁川米豆取引所 五日の二月限

白米標準値 二十三圓

小賣白米

仁川米豆取引所仲買人 今村甚次郎

仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 猪飼政太郎

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 主任 西川平治郎

仁川米豆取引所仲買人 ナ仲買店

仁川米豆取引所仲買人 仲買店

天　くもり　曇時々小雪

大阪期米 [illegible]

▲五日後場 大阪前止め小高き入電にて中一節十九圓八十四錢先四十八錢より五十錢あつて四十九錢後寄高踏安移

仁川米豆取引所

◎有望なる開海鐵道線

◆長白山の裏側、鴨緑江の上流を開拓する鐵道◆
◆開原、海龍城間の鐵道布設◆
◆千古の處女林、無限の鑛産物◆

◇滿蒙五鐵道 の一つなる四鄭線（滿鐵本線より蒙古の鄭家屯に至る線）は愈よ去る十一月卅日を以て開通した、次いで來るべき刻下の緊急なる問題は吉會線を及び北滿洲を連絡すべき大動脈と開海線とであらう、識者は北朝鮮して既に人口に膾炙されて居る、併しながら後者に至つては多少地方的の線たるを免がれぬ所以が一般に餘り注意を拂はれて居ないやうである然れ共地圖面に於て

◇開原驛を 輕視した人が一度實地を視るに及んで開原の偉大に驚くと同じく一度此の開海線を調査した人は其の經濟上の重要線なるに意外の感を抱くであらう、開海線とは滿鐵本線開原驛より東方海龍城、朝陽鎮間を連絡する鐵道の謂ひである、目下滿鐵に於ては此の線及び吉會線の布設借款に就き北京に於て協議進行中なりといふが兩線共に

◇日支經濟上 の發展に貢獻する處蓋し尠少のものでなからうと思ふ、而して此處には唯だ開海線に就いてのみ記して見たい、近く滿洲に於て日本の鐵道政策の爲めに著しく勃興した土地が二つある曰く大連と開原である、その代り鐵道と競爭した遼河の水運によつて居つた爲めに衰へた土地が二つある曰く營口と鐵嶺である

◇由來鐵嶺が 大豆其の他の穀物取引に於て殷賑を極めたのは主として東方（即ち鴨緑江上流の北方（長白山の裏側）の沃野からその莫大な物資を集め得たからであつた、集めた物資は直ちに馬蜂溝から遼河の水運によつて營口に送られ、歸りはまた營口から雜貨を輸入してこれを奥地の農民に供給したものであつた、然るに去る明治四十一二年頃から開原といふ野原の中の

◇一小寒村が メキ〳〵と頭をあげて來て、だん〳〵と古參の鐵嶺のお株を蠶食して行つた、そして大正六年の今日では殆んど大連に出る滿洲穀産の三分の一即ち年額約三十三萬噸を積出す程の集散地となつた、開原の發展は實に素晴らしいものでこれが皆鐵道によつて興つた次第である、然らばなぜ開原が斯の如く急激の發展をしたかと云ふに主因は其奥地に西豐（掏鹿）西安（大吃哩）東豐（大肚川）海龍城、朝陽鎮、北山城子等の一般

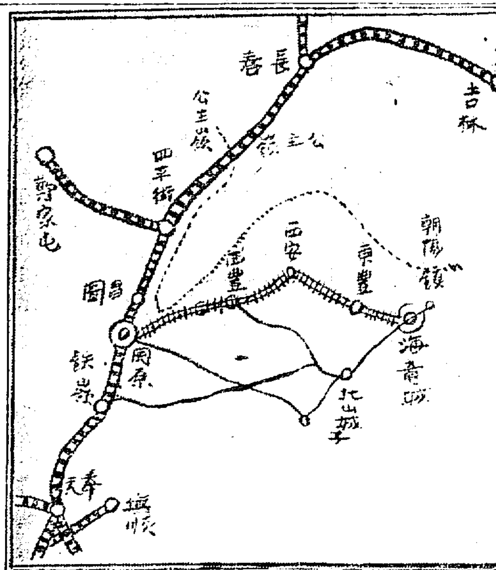
◇物資の豐富 な土地を控へ而してこれ等の各地から最短距離——滿鐵本線に直角に突當るところの道路をとつて來るからである、然しながら農民が歸途に買入れる綿絲布、雜貨、石油、燐寸等の如きは運賃の關係上南方に行く程廉い品が買へる譯である、然るに右の奥地から鐵嶺に出るには少々山越をしなければならぬ、加ふるに途中馬賊の難も顧慮しなければならぬ、ところが一方

◇開原街道は これに反し道路平坦で、途中は人家稠密の爲め馬賊の虞れがないといふ始末、これでは自然開原に集るのも無理からぬことであらう、又開原の勁敵には四平街驛がある、これは目下蒙古の鄭家屯と連絡した餘勢を以て是非共海龍城に結ばねばならぬと一部の人は主張して居るが途中山路の工事難がある、それに物資が海龍城から南下するには不等邊三角形の二邊を通らねばならぬ不便がある且また從來の支那馬車は

◇途中吉林省 を横斷する爲め一石六十錢の釐金税を徴されて居た、それで何うしても開原に廻すが便利といふことになるのである、如上の理由で開原は近時メキ〳〵と頭を擡げた、現に金融業者には支那側の銀行が七つあり日本側また鮮銀、正隆、正金の三銀行がある、而して開原驛の

◇貨物收入 一箇年二百五十萬圓（長春驛の五百萬圓に亞ぐ）旅客收入また三十萬圓に上つてゐる、詰り山東鐵道全線よりも開原驛一驛の高が大きいのである、また開原取引所の一箇年取引高は約六千萬圓やがて一億圓を超過するとの見込である、朝鮮に於て食用に輸入せられる

◇滿洲粟も 多くは開原から輸出される、以つて其の將來ある大集散地たることが觀はれる次第である、開海線の將來は實に有望な線路であらう、殊に奥地松花江上流の大處女林と鑛産物も無限の寶庫であつて近く西安の炭鑛の如きも矚目せられてある、開海線の將來は蓋し非常なるものにならうと思はれる。



◎滿蒙開發理想を實現

東拓理事 高瀨梅吉氏談

東拓滿洲各支店の開設も大略其の端緒に就きたるを以て愈々活動の期に入る事となれり今後及ぶ限り日支人の爲めに産業經營の資金を融通し滿蒙開發の理想を實現せんとする覺悟なり滿洲居住の人々よりは東拓會社は大體何程の資金を滿蒙に投下する豫定なりや又は金融業の他に如何なる

▲事業の經營 をなす計畫なりや或は資金投下又は事業經營の調査機關を如何にすべきや等の質問を屢々受くる處なれど東拓會社は貸出資金の消化に伴ひ今後無制限に投資し日支人の事業の發展に隨ひ其の需要の資金は充分に供給するは勿論なり金融業の他に會社として直接事業を經營する事も可なれども能ふ限りは個人又は會社以外の

▲法人の事業 に投資し自由に其の事業を經營せしむる事は最も必要の事にして大資本を擁する會社が有利の事業を壟斷するが如き傾向を避け得べきなり然りと雖も會社自身が手を下すに非ざれば興り得べからざる薄利の事業にして而かも國家的に必要なりと認めらるゝ事業は之れが直接經營を爲すべき事は勿論の事なり會社の對事業貸出に關する調査は之を精査するは當然なれど東拓としては

▲滿蒙の産業 に就きて大規模の調査機關を設置する等の計畫は無し元來日本人の調査は殆ど重複したるものゝみにして其の勞力經費の點より見るも甚だ不經濟極まるものなり大藏省日本銀行の如きも莫大の經費を投じて殆ど同一の調査を爲しつゝあるかの觀あり之等は今後其の經費と勞力を省く事を勵めざるべからず

▲滿蒙に關す る調査は滿鐵都督府にて極めて精密に亘り行はれ居るを以て支障なき程度までは其の調査に依る事は獨り東拓のみならず滿蒙に事業を經營する者の利便とする處にして調査の重複を省き更に進んで實地の調査を遂げ得べきなり滿洲に於ける東拓は今後この生きたる實地の調査に向つて一歩々々其の自然の秘を發し埋藏の利源を開發せんと欲する希望なり（奉天）

◎露の金鑛回收

黑龍江省に於ける五大金鑛は往年より露國の手に歸し露人は專ら之れが經營に任せしところ戰亂以來同國の財政難は今や極點に達したるより露國は遂回これを再び支那に賠還せん事を黑龍江省に交渉し來れるを以て同廳長王恭濤氏は奉吉兩省當局と電商し三省財政廳長の職名を以て賠還費五百萬元を中央より支出して官營に歸せしめ若し中央に於て此の負擔に堪へざれば民間より株式を募集して民營とせん事を財政部に電請したりと云ふ

◎寧遠養蜂改良

蜂蜜は平南道に近き將來に於ける重要産物の一なるが寧遠畜産組合にては同地方に蜂蜜原花の豐富なるより是れを利用し蜂蜜産額の增進を計らんが爲め過般來養蜂熱を鼓吹しつゝありしが是れが改良進歩の第一歩として平壤に於ける養蜂家原一雄氏を聘し養蜂講習會を開内六箇所に涉りて開催したる處該事業の大要少勞且直接飼養上利益なき爲め好奇心を喚りたるものか講習場所に集合したるもの男子九千九百七十二名女子三十八名計三千十名に達し豫想以上の好成績を擧げたりされば同郡にては先づ改良巣箱の普及を計らんが爲め第一年には各面に各種巣箱に就いて試驗を遂げ第二年には各面に一箇所宛第三年に於ける各面長蜂家に漸次普及せんとするものなり尚採蜜方法に就いても各面一個宛の蜂蜜分離器を共同購入し從來の慘殺を禁止越冬せしめ以つて増殖を計らんとする計畫中なりと云へば社會の進歩と共に蜂蜜の需要は著しく增加しつゝあれば前途頗る有利なる副業なるべし

◎長春驛貨物 現況

先般來より東支鐵道長哈間支線の貨車制限に因つて起れる貨物停滯は既に略報せる所なるが、一時は運輸禁止問題まで持ち出されたるが今日に於ては豫想されし程の意もなく打ち過ぎ現に哈爾賓に向つて輸送されし居る物貨の種類は米麥粉、砂糖、唐米袋等生活上必要品のみ不足乍らも行はれ居る有樣なれば其他の取引品にして滿鐵東支兩鐵道聯絡驛に停滯しし居るもの三十貨車前後に及び日々多少の增減あるも未だ大なる動揺なし、而して哈爾賓行貨物にして明白に其の品名の知れ居るものは上述の如くなるも受取先の不明なる又は受取主の行衛不明にして荷主の通告を爲し得ざるもの等を加ふれば優に一千噸を超ゆる有樣にして品目は綿布、米、砂糖、硝子、皮革類等主なる物にて豫定なき露貨主塲を控へて受取るには受取りたるも商敝整はずして手放し難き荷主も少なからず、又哈爾賓よりの荷は日々平均二十車を下らず其のうち六七車内外は豆油、大豆にして他は材木、綿布、雜貨なり、但し綿布雜貨の哈爾賓より來れるは同地混亂の爲め先に送付せし邦荷の逆輸送なり、吉林方面よりの材木は荷は日々十車前後にして東支線諸驛より同貨車を廻へて五六十車を下らずと雖も之が貨車相換の調によりて取引遮りをなす事例に洩れず、現在在庫貨物千八百噸と稱せらるゝうち材木積荷亦此れから多く大豆其他の雜穀類は四方より集まるもの今や二萬噸に及び居れど之亦現今の不景氣にて日々滯荷甚增加を見つゝあり（長春發）

◇旭汀女史と五絃 京城筑前琵琶界の巨擘村旭汀女史は本春五絃研究の爲め東上過般研究を遂げて歸鮮したるが此の程宗家より法號を得同時に教授免狀を附與せられたるに就き今回與師資格以上の希望者に對し教授を爲す由尚旭汀會にては來る七日午後五時より本町二丁目[illegible]で第二十九回温習會を催す由當夜の曲目左の如し（同に入場料は無料なりと）[illegible]

白山黑水

▲このごろ奉天日本部事務所東方の沼には氷滑りがなか〳〵盛ん▲殊に月の青い夜など外國人の男女が來て樂しさうに氷滑りに遊んで行く▲奉天中央大街の曹洞宗布教所にはなか〳〵婦人の參禪家が多いといふ▲中にも滿鐵醫院の看護婦長の如きはだいぶ悟りが開きかけて來たとは何よりのことである▲奉天地方事務所主任の原田さんに一體主任會議はどんな事が議題になりますと訊くと原田さんは一向詰らないといつた顏をして曰く▲なあに一向集まつて緊急の事務は起つたら其時に方付けるから一年一度の會議は先づ月並の教育方針をこうするとか▲衛生の方面を打合せるとかやれ土木はどうの下水がどうのと一種の報告會諮問會です▲中には二三年も以前にみなの承知したことが新らしく持ち出されるとありますさ▲モ一つ福田保線主任は京都大學の出身な相だが自分は職務以外に何處にも旅行しないといふやうなはなしから曰く▲昔しの人はアレで誰れも大旅行を試みたものです▲早い話が忠臣藏の連中にしても廣島、山科間に半月、江戸にきたその位ゐかゝる▲これを今日の旅行にすればペルシヤで事件が持ちあがつて支那の山科で企圖して而して江戸で仇討といふ段取りです▲むかしの人は實に偉いぢやありませんか（奉天）

◎荷車と小兒 京城樂園[illegible]

◎慈善家の美擧 故前總督府道書記吳命根氏は京畿道長官官房勤務中[illegible]八十五圓餘に達せり本月一日[illegible]

懸賞 新年文藝 募集

課題 ▼和歌『寄馬祝』▼俳句『初東風』▼川柳『吉』▼俗謠『若水』▼ものは付『樂しい物は』▼一口噺『新年に困めるもの』▼下句付『初夢に』▼謎『門松とかけて』

制限 （一人に付）一題一首又は一句、但し一人にて幾題投稿するも可し（用紙）葉書又は同型の紙（〆切）十二月十五日（注意）必ず別用紙に認むる事（宛）京城日報編輯局新年文藝係宛送附する事

賞品 各題に付▲一等一圓（一人）▲二等五十錢宛（二人）▲三等三十錢宛（三人）（但し本社代理部の相當書籍券贈呈）

演藝案内

浪花館 明治町二丁目 電話六〇一番 喜仙會一行 大切 浪花節出演 義理と情 [illegible]

大正館 電話八七三 [illegible]

有樂館 [illegible]

黄金館 電話二六三七 二六六六 [illegible]

陸軍拂下 並に諸官衙拂下品一切 寒暑用襦袢、袴下、靴下手袋被服一切 京城府漢江通三 電話長三三六番 佐藤古着店

富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢 京城日報社代理部

商業登記公告 [illegible]

京城地方法院

第二十三回決算公告

貸借對照表 [illegible]

損益計算書 [illegible]

大正六年十一月
共保生命保險株式會社
取締役社長 堀貞
取締役 松下文太郎
同 岡部菊太郎
同 山口隆
同 田中小市郎
監査役 生島嘉藏
同 伊藤長治郎
同 貝島太市

日鮮會話精通
袖珍總クロース頒美本 七百餘頁 定價金壹圓參拾錢
朝鮮總督府 私立普成法律、商業學校講師 西村眞太郎著
一、世に朝鮮語の會話に精通せられむとする人士は速に本書を購求せられよ
一、殊に同氏の前著「朝鮮語會話」を研究せられし人士に取りては必讀の續篇とす
一、本書の内容は貧弱ならず、試みに其の一端を示せば
イ、單語の數は實に八千以上なり
ロ、難解の副詞に適譯を附したるもののみにても五百とす
ハ、内鮮人間に膾炙せる俚諺の適譯計六百
ニ、譯方正確にして且つ嶄新
一、本書は各學校教師及學生各裁判所警察官署通譯生銀行會社並に講習會に對し宿年の渇望を充すに足る良著たり幸に一本を机上に載せて御愛讀の榮を賜らむことを祈る
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 大阪屋 電話二〇八六番
賣捌 京城本町二丁目 京城日報社代理部 電話一一六六番 嚴松堂

小鳥捕用 カスミ網（極上絹糸製）○其他雁鴨兎網無双網等種々あり
京城永樂町二丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京城四三六番

金露 攝津灘 大塚釀造所吟製 發賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座一四二五番

移轉 諸紙 諸印刷 文房具 京城明治町一丁目四十番地（東洋拓殖會社隣江頭眼科醫院前） 瀨川中央堂 電話長一二八九番 振替京城二〇四五番

能く賣れる M印ゴムマリ M印八大特長ヨクアガル 發賣元 飯田商店

小學兒童齒牙健康診斷無料 岡本齒科醫院 夜間診療 晝間多忙家之爲 京城本町一丁目

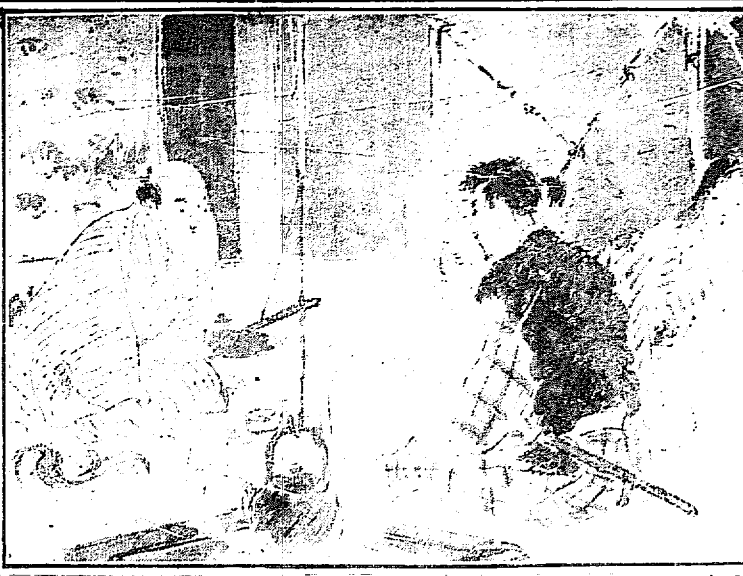
資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

左甚五郎

第百四席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

九助は戸棚の中に息をころして隠れて居りましたが、女房が打れて悲鳴を揚げるを聞いて驚き 九『おゝ大變なことになつた、俺を助けやうとしてお内儀さんが打れて居る、何とも氣の毒なことだ、あゝ一つ打れた、又一つ三つと呼吸を數へて居る、堪り兼たものと見え、男だ戸棚の中で他人の打れるのを見て九助は戸棚の戸を開けて其處へ飛出した、皆々是を見て驚き騒ぐ主人は 主『お前は何だ、ヤー先刻道を聞いた旅人だな 九『如何にも俺は旅の者だが、此の家へ來てお内儀さんに頼つて宿をして貰ひましたが、俺の爲にお内儀さんが難儀をして居るのを見た節には默つては居られないから此處へ出たので 主『何んでも此奴が隱したと思つたから打据ゑたのだ 九『可愛想にお内儀さんを打つのは廢してくんなさい、聞けばお前さんは泥棒だと云ふが然うかね 主『如何にも俺は盗人だ、旅人と見れば情け容赦もなく打殺して金を取るのが俺の稼業、お前も文句を云はずに懐中ぐるみ置いて行きねね、四の五の云ふと命が無ねぞ 九『今更勘辨をしてくれと云つた處で肯く氣遣ひはあるまい、懐中には百兩の金がありますが殘ず上げます、その代り命は助けて下さい 主『大層[illegible]ルッ振の宜い男だ、金を出せば命までも貰ほふとは云はねね早く出せ 九助は懐中より胴巻を出して 九『そんなら是を受取つておくれ、今夜は泊めてくれるだらうと思ふし、 主『叶けねね／＼泊る譯にはならねねから直に出て行け 九『夜々中此の暗い中で何うすることも出來ない 主『松火を點けて遣るからそれを持つて元來た道へ歸るが宜い、 九『それじやア然うすべね 主『衣類を脱いで行け 九『[illegible]云つちやア行けねね、襦袢じやア何うにもならんねね、襦袢だけも勘辨してくれ 主『おふみ、何か被せて遣れ ふみ『ハイ』とボロ／＼の袷を一枚持つて來て九助に被せる 九『是はどうも酷い襤褸だけれど、無いよりかマア増しだ』と其の衣類を被て手拭を二ッに割て帶として、九助が 九『其處にある俺が帶して來た道中帶をくんなさい 主『馬鹿を云へ是でも賣れば三分や一兩にはなる、遣ることは出來ねね 九『惡い犬にでも出逢つて時に無手では仕樣が無ね、何か一本遣つてくんろ』 主『能く種々なことを云ふ奴だ、ヤイ熊、其の刀の束を持つて來て一遣れ 熊『ヘヱ宜うございます』と戸棚の内から取出したは三十本ばかりの刀が束になつて居る、皆雑刀物ばかり 熊『此の内で何れでも一本持つて行け 九『ヤー大層あるな、皆な是は盗んで來たのか 主『餘計なことを云はねねで宜いのを一本持つて早く行け 九『それじやア此の内で長いのを貰つて行くべね』と九助は右の刀を帶して點けてくれたる松火を持つて 九『それじアお暇いたします、お内儀さん貴下の情けは忘れません 主『さア／＼グズ／＼云つて居ねねでサッサと行け 九『ハイ今行きます左樣なら』と九助は其家を立出で元來し道へ取つて返し、彼是五丁ばかり來たかと思ふ途端に、木の根に躓いてバッタリ仆れる、弾みに松火を投出したから火は消ゆる、ピューと云ふ風を切て飛んで參つたる彈丸、頭の上を掠めて向ふへ飛で行く、若し九助が仆れなかつたならば此の彈丸に中て落命をする處であつた、天孝子を助ける處か運好くして此の彈丸は免ました、賊の頭が子分に吩咐け、若し旅人でも來たら一大事、鐵砲にかけて殺してしまへと云ふ乃で子分の熊藏が後から尾けて參つて射つたものでございますが、扨も運好き人で、此れより急ぎ木の根草の根押し分けて、黑白も分かぬ山路を一散に駈け出しましたと、東の空は早白み、彼方に家々の甍が見ねます、嬉し勇んで九助はその宿に入つて來た

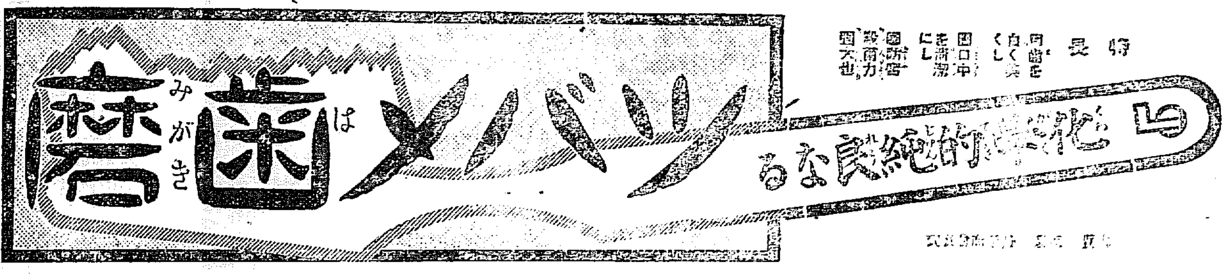


寫眞 出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版
京城日報社 寫眞製版部

暦 十二月七日 九星
舊十月廿三日 癸未
本命二黑 坤 成 友引
△二黑● 手探込主義の事有日新事見合東方は吉 [illegible]
△三碧● [illegible]
△四綠● [illegible]
△五黄● [illegible]
△六白● [illegible]
△七赤● [illegible]
△八白● [illegible]
△九紫● [illegible]
△一白● [illegible]

印刷インキ製造
京城明治町二の二
電話三一一六 振替京城二三二五
櫻井商店

中風（腦溢血）せきづい病 半身麻痺不隨症
右患者自宅療法は多年自療法専攻の京都栗田御門内川崎自療法研究所宛病名記入申込次第無料回答す



誰でも樂に金儲が出來る
成金時代の今日こんな方法に依れはどんな小資本家も又無經驗の士でも物價騰貴の今日人間の生活上に缺く可からざる日用品を有力なる營業者が聯合共力して特殊の方法で世界一の特價市價の半値乃至三分の一で卸を始めた此地方一名限りの特約專賣店となり活動すれば如何なる小資本家も金儲は確々と意の儘である希望者は返信料入東京本郷湯島六の一五東京日用雜貨卸組合府部へ[illegible]

防寒靴 販賣 製造
壹圓六拾九錢より
並に **毛皮なめし**
地方の注文に代金引換にて發送
[illegible]
大阪屋

周易 介石堂
[illegible]
岡村介石

眼科專門 金井眼科醫院
京城若草町 電一五五六
新築落成 入院隨意 日曜祭日午前中

男の生殖器病
生殖器萎小、包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、腦神經衰弱、手淫及過度等による諸症の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器を使用し速に効力現はれ、豫想外の偉効に驚くべく二大博士も其實効を證明し貴驗諸氏の賞讃湧くが如し ハガキで申込あれ 圖入説明書を無代にて送す
東京神田[illegible]
眞空療法研究所

内科 胃腸病
京城本町一丁目
石川醫院
電話一三七二

▲寒さとトンビ▼
一、特長トンビ 金參拾九圓也
甲 同 金參拾六圓也
乙 同 金參拾圓也
女コート 金拾九圓也
行燈袴 金九圓也
[illegible]
右特價發賣仕候
京城日報社代理部

中央婦人病院
京城明治町二丁目
[illegible]

ホンノリ色白くなる

レートフード

紳士の美！（お髭剃後に一滴）
お髯剃後に附けて剃刀カフレを防ぎ其上お肌の色艶を好くし脈味なくホンノリ色の白くなる作用は男子の儀容を整へます

淑女の美！（家庭化粧に一滴）
荒れを留め、お肌をホンノリ白くする具合は實に女子美容の眞隨で日常家庭化粧料として品のよい美くしさが保たれます

フードの精分
レートフードは、新發見の美容素が配合してありますから、其精分は非常に強く、附けると毛孔迄も開いて肌の地から整へ、お肌の色艶を頗るよく致します。

フードの作用
レートフードの化學的作用は、よく肌の荒れを留める上に、自然に品よくホンノリ色を白く致しますから、素化粧料、腦化粧料として實に家庭の重寶でムいます。

本舖 東京 平尾贊平商店

桃谷研究試驗所製
佛蘭西式純白
美顔洗粉
◇御内意に依り謹製したる品◇

或る高貴の御係から、佛蘭西製の或る洗粉とクリームとの見本を添へられ、これに劣らぬ優秀なる品質の二品を桃谷研究試驗所に於て調製奉進せよとの難有き御内意が傳へられましたのは大正四年五月上旬の事でした。當試驗所にては此上なき光榮に感激し、飽くまで深重に綿密に研究を積み、同七月下旬を以て御製品を上納致しました處、二品とも品質の極めて優秀なる事を認めさせられ爾來常に御用を拜して居りました其二品の内の洗粉を先頃來廣く世に發賣する事にしましたのが此美顔洗粉であります。斯ふいふ品ですから、一度美顔洗粉を御用ひになりました方は必ず其品質効用に御滿足遊ばされ引續き愛用せられる有樣であります。

美顔洗粉定價小袋八錢中袋十六錢大袋二十四錢 發賣元桃谷順天館 各地化粧品小間物店にあり

桃谷研究試驗所の外觀

京城日報

第五版
六日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

▲五日後場 大阪前止め小高き入電にて中一節高 [illegible] 節五錢△先限一節十九圓四十八錢 九錢五十 [illegible] 一錢二錢一錢二錢三節五十二錢一 錢二錢一錢四節五十一錢二錢

京城日報
露西亜の運命

露國過激派政府は、獨逸に對して休戰交渉を開始したり。所謂過激派の首領レニン氏の如きは、世間常に獨逸の器械を以て指目する所の人物にして、過激派政府開設以來、常に獨逸と交渉往復を重ねたりと云へば、此度の休戰の如きも、事の如きは、恐くは其豫定の筋書に由るものなるべく、露西亜の運命が彼等に依りて如何に弄ばるべきかは、是を今後の事實の上に見るの外なし。

露西亜の假政府は、聯合列國の共に承認する所にして、其名は假設なりといふも、露國統治權の所在を示すものたるや論なし。然るに不幸にして假政府は、其實力足らずして倒れ、今日の露西亜は全く無政府狀態たり、亂民政治たり、所謂過激派政府なるもの、固より政府たるの資格を具ふるにあらず、只其暴力は、都市人民を劫掠し及び戰爭に倦みたる兵卒を指呼するに足るものあるの故を以て、一時自ら詐稱するといふに過ぎず。是れ去十一月二十五日協商諸國大使公使相會同して、過激派政府を承認せざることを決議したる所以にして、今日の露西亜には事實上の政府なきなり。其今日過激派獨り跋扈するが如くなれども、露國民は決して彼等の下に統一せられたるにはあらず、彼等は現在の無政府狀態に乘じ、兵卒の戰志なきを利用して講和熱を煽り、此間に權勢を占めむとす、畢竟是れ亦政治界の泡沫のみ。

獨逸が斯る泡沫的勢力を相手に講和條約を締結すべきや否やは、固より疑問なれども、彼は豫てよりレニン一派を利用して、露國内に講和運動を行はしめ、露軍をして戰役より脫退せしむることを主目的と爲したる行掛りもあれば、此度レニン一派の過激派政府にして休戰を申込む以上は、直に之を容れて露軍を戰線より撤退せしむるのみならず、其軍隊編制を解除せしめて已むべし。吾人が斷ば云へるごとく、獨逸の志は露國と和を講ずるにあらずして、其をして戰ふ能はざらしむるにあり、今や旣に其目的を達し得たり、露西亜は遂に獨逸の爲めに俎上の肉たらむとす。

露軍其陣形を張るの際、獨墺軍の露國戰線に當るもの蓋し二百個師を降らず、今春革命以來、[illegible]たる爲すなきの姿あるや、[illegible]を移して西部戰線及び伊太利戰線に送りたる形跡ありしが、[illegible]其最も著しきものありき。云へば、今度の休戰條約に依りて新たに移送し得る兵員は、其殘餘のみなれば、案外寡少なるやも知るべからずと雖も、兎も角も獨墺に取りては一方の困難を切り拔けて、復た後顧の憂なき次第に[illegible]得て、其力を轉じて西部戰線若しくは伊太利戰線に用ふべく、或はサロニカを急攻して、東西[illegible]を示し、[illegible]を窺ふべし[illegible]。獨逸とても今は疲困其骨髓に徹せるものなきにあらずと雖も[illegible]るものあり、其の遠征[illegible]はざるや論なく、露國の頽廢は[illegible]にして、[illegible]ち西部戰線及び伊太利戰線にかける敵の抵抗力を頑強ならしむるものと解するの外なし。

支那漫遊
陳督軍の朝餐會
蘇峰生

潯陽江畔、九江の大元洋行より程呈。十一月四日夜、南昌の市街を散歩す、洗馬池街は、其の目貫也。此地と、長沙とは、何れも長髮賊の兵火に罹らざりし爲め、舊觀を存し、何となく落ち附きたる風情あり。市街も比較的清潔也。數日來始めて星を見る、明日の晴天を可き也。就床の後、江西省督軍陳光遠將軍より、朝餐の案内に預りたることを聞く。實は將軍より著するや否や、明日午餐の案內を一度ならず再度迄受けたれども、之を歸期の緩す可らざるが爲めに、之を固辭せり。此に於て特に八時に轎を以て相ひ迎へ、朝餐に案內す可く、更に寸價を以て、申し込み來りし也。支那に於ては大官、小官、大人、小人、何れも朝寢夜起の風習あり。此の風習に反する者は、恐らくは苦力と、予が如き邊物のみならむ。されば午前八九時の會見、旣に彼等に取りては、非常の破格也。〆や朝餐の案内をや。是れ俯する[illegible]らざる所以也。

十一月五日、朝起直ちに南昌名所の滕王閣を觀る。閣は殺風景にも、今は警察署となり居れり。隨分の高閣也。欄には繞り[illegible]、[illegible]にて[illegible]を望む[illegible]。此日[illegible]風にて[illegible]萬斛を吹き飛ばされんとす。[illegible]は贛水に臨む。水中の川中島には、樹木、人家あり。島を隔て、對岸の白砂あり。川幅約二千尺、所謂る王子安の『孤鶩與落霞齊飛、秋水共長天一色』の光景は、今や何ほど古の如し。暁窓間もなく、約束の時間に二分の相違もなく、來る一行六人、輪轎に四人の担夫あり。轎を連ねて、衙門に赴く。衙門にては、例の如く兵士整列、門閣、宏壯吹奏、而して將軍は、正門に[illegible]見す。陳光遠將軍は、直隸の出身にして、年齡は漸く五十に接近し、舊時大に、頗る體格に[illegible]つゝあらむ。極めて愛想好き軍人也。やがて朝餐に取り掛り、良ひ團欒、曝し且つ談ず。談は南潯鐵道延長問題より、歐洲大戰後、東亞の大勢に及ぶ。予は汽車の時間に、翻り後るゝの餘あるを掛念したるに、將軍は斷じて御心配に及ばず、發車時刻を延ばすも、差支なしと大笑せり。予は吉林に於て、孟恩遠將軍は、予等一行の爲めに、十五分發車延長の約束の下に、午餐を饗せられたり。將軍亦た此の例に倣ふ乎と答へたり。然も將軍は如才なく、長き支那料理の獻立を、矢張早に出さしめ。予等が衙門を辭し、贛水を渡り、汽車に乘り込みたるは、發車時刻十一時半に先つ、約一時間にてありし也。

歸途記す可きなし、但だ汽車は遠く廬山の周邊を駛りて、竪に見、横に見、左に見、右に見、殆んど吾人をして廬山面目の眞を、看取せしめたるを愉快とし、此の愉快は、流石の東坡も享受する能はさりしを、誇らんのみ。而して孫花滿堀、所謂『楓葉荻花秋瑟瑟』の光景は、眼前に描き出されたりし也。

掛くて停車場より直ちに、河西[illegible]事の邸に赴き、一行の外、商北良日淸、成田東部興業、三原朝銀諸氏と、隨從の驅走に預り、愉快なる一日を了して、夜潯陽江の旅裡を渡り、大元洋行に投宿せり。（大正六年十一月六日午前五時半）

京日歌壇

[illegible]

ごうして
布施生（五）

[illegible]は其實家をも所有せず、傭[illegible]開[illegible]する所有[illegible]なさそうに[illegible]けたりしてゐたが、[illegible]ように、國柄に[illegible]如何にされけいやあ、[illegible]ません、だつて乾度あの娘は無理に作出されたのに違ひで[illegible]ございますわ、私はあの娘が大好なんでございますよ、だから出來る限り早く救出して戴きたいと申すのでございます』國柄は此返事には滿足しなかつた。しかしそれだからと云つて國柄が此事件に對する興味は減じる所か却つて益々湧立つた。『貴女はそれとして御主人こそ一生懸命におなりなさらなければならない所なんですよ、御主人は何うなすつたんですか』『それは先程も申上げました』『谷女は急いで』[illegible]旦那樣は一時に困つた色が見はれた『旦那樣は俄の御使ひで遊さない方でございますもの』『國柄は改めて案內を[illegible]』『處で貴女は當家へ參りましたのは何年になります』『私は御先代の時に參りましたので、御先代は昨年お逝去になりまして、それから引續いて被在るんです』『それから其惡美子さんは何時雇はれて來たのです』『さあ參りましてから一年足らずでございますが』『何處の人です』『當地の者でございます』『何でも普通の女ではないやうでございましたが、それは如何云ふ意味ですか、教育がある[illegible]

あると云ふのですか、素性がいゝと云ふのですか、美人だと云ふのですか、それとも——』『いゝえ、何と申して可いか分りませんが、さあ教育があると申しますれば、左樣確かに教育はございました。しかし勿論貴族のお姫樣のやうな教育を受けたと謂ふのではございませんわ、朋輩の知ない色々な事を知ては居りましたがね、書物も好でございまして、あゝそう〳〵一つ朋輩の者によくお尋ね下さいましな、私は兎角お尋ねを受けますと何と申上げて可いか自分で分らなくなりまして』[illegible]か、それとも何か云ふに云はれぬ理由があつて此樣に[illegible]をきめて居るのだらうか、國柄は[illegible]『何處で惡美子さんをお[illegible]になりました、御當家へ來る前は何處に居たのですか』『存じません、私はあの娘の身の上の事は一切訊ねは致しませんでしたから、唯あの娘が[illegible]てほしいと申しておりましたんでございます、[illegible]さうな娘だと思ひましたから別段身元引受人もございませんでしたが、其儘使ふ事に致しました』『それで斷振はよかつたんですか』『はい、中々』『度々外出はしませんでしたか、ある人は訪ねて來ませんでしたか』『いゝえ一度も外へは參りませんし訪ねて來る人も御座いませんでした』國柄はどんと推測の手懸りがなくなつた『宜しい、それはそれとして兎に角惡美子さんは一人で出たのか誰かと一所だつたか調べて見ましやう』そう言うたまゝでもう外のお饒舌はせず國柄は窓から增築の屋根へ潜つて出た。

出ながらも國柄は心の中で阪探偵長を呼んだものであらうかと決しかねた、今迄の所ではまだ惡美子は別段どう云ふ目に會はれたと云ふ形跡はない、情夫と手に手を取つてにしろ取らないにしろ多寡が何でもない驅落なら何も態々探偵長まで煩はして警察一同が大騷する事はない。しかし事件の工合によつては自分を喚べと探偵長から命令を受けてゐる、喚ばうか喚ぶまいか其判斷が難かしい、決しかねながら國柄探偵は屋根の端まで歩み出た。

新年詞壇募集

漢詩『海邊松』『戊午新年』（勒韻、韻隨意）（一人三首以內）
短歌『海邊松』（一人三首以內）
俳句『騎初』（一人五句以內）
（注意）締切十二月十五日、用紙半紙型京城日報社編輯局新年詞壇係に宛て投稿の事

本紙定價 △一ヶ月金五十五錢△三ヶ月金一圓六十錢△六ヶ月金三圓十錢△一ヶ年金六圓（郵稅共）
廣告料 [illegible]
發行所 京城日報社
印刷人 [illegible]

八、九十錢在來種八圓內外より上品八圓七、八十錢にて商談行はれ居れり △正米は沿線物合格品の買付け旺盛にて [illegible]

因 圖 蘇峰學人新著 民友社創立卅年記念出版
杜甫と彌耳敦
定價一圓五十錢 [illegible]
杜甫と彌耳敦とは著者が童幼時代より特に愛誦し私淑し來れるもの今茲に三十餘年の蘊蓄と構想とを傾注して此の文學界空前の大著を成就す本書は東西兩大詩人絕特の位地技倆作物思想人物を描盡したると同時に其の背景たる時代の政治宗教文藝思潮を論じ英雄豪傑名士美人を語り之を綜合大觀して悉く詩化し美妙化し讀者爲めに恍として東西を連貫せる一大詩境に逍遥するの感あり
賣捌所 京城本町 京城日報社代理部

京城櫻井町一丁目（大正館隣り）
滿田齒科醫院

五段鈴木爲次郎先生著 和裝第一、二各金六十五錢 雅本 送本料各金四錢
極意圍碁寶典
京城振替二五七三番 大阪屋號

鈴木五段著
誰でも忽ち初段九目
新圍碁寶典
本書は始めての人に上達せしむる斯界に好評嘖々たる名著にして順次進みて初段九目以上の域に達すべき必須の寶典也

模範 牛乳
ニッソ 石鹸 洗粉
東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二番

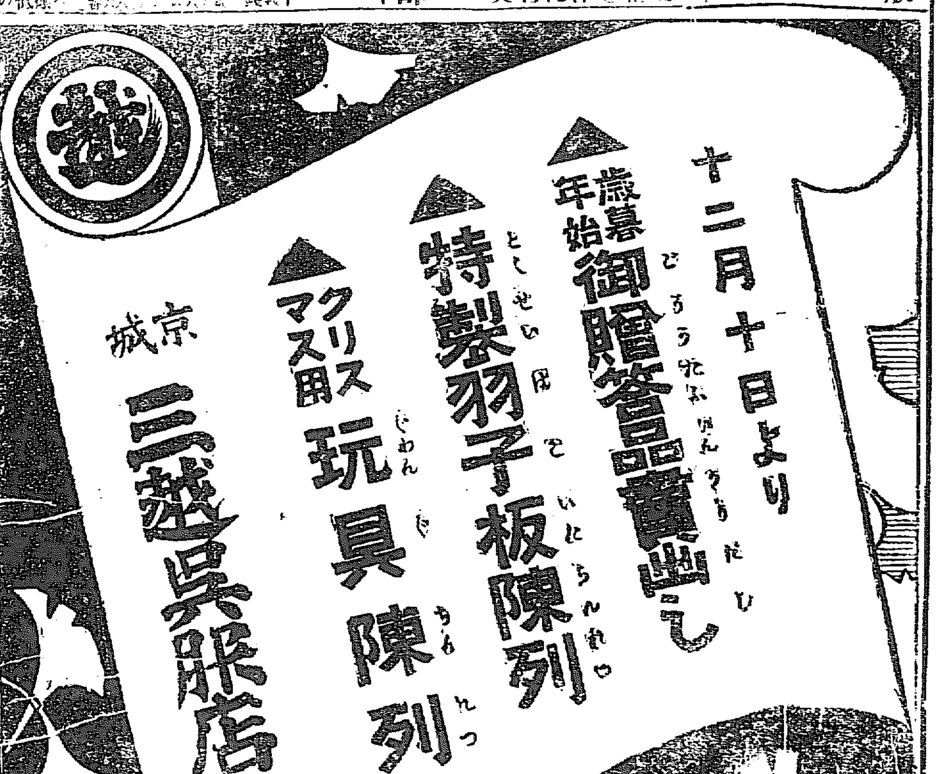
鑛業の智識を得んとする者は見よ!!
鑛業講習錄
新學期開講入學の絕好期 目下入學者には特點あり
本校は最新式の通信教授を以て鑛業に關する一般的智識を授け鑛業界に紹介す
大日本通信鑛山學校朝鮮支部

TRADE MARK
LINET
リンネット
此加工品は手堅き商標の許可を得たる社名と特に別紙の御承知下され候

最新優良加工糸
リンネット
登錄 商標
LINNET
神奈川縣横濱市
日本リンネット株式會社

ある長所特に別く無點缺のルテンリ廳
加工糸リンネット
（陳出會覽博業工學化の中催開）
夏物用手持有澤山
特價を以て相願候
類似品嚴重可取締
本品安全第一に候

神奈川縣橫濱市　電話三二一三番



南方討伐を決議す

天津會議の結果=馮總統に通電

天津會議は二日夜開催されたるが會する者曹錕、張懷芝の二督軍及び其他七省代表者にて席上張氏は時局を說いて熱涙滂沱たり一同感激し南方に對し死を以て決戰す可きを議決し直隷より二萬、山東より一萬、山西陝西より各一旅の兵を派遣し張、曹の二督軍之を引率して出征する事軍費は奉天二百萬其他各省百萬元宛を支出する事を決議し此の旨馮總統に通電せり(天津特電)

重慶秩序壞滅す

重慶に於ける貴州軍は雲南軍に屬する一部土匪と共に呉光新軍に挑戰し勢猖獗にして三日午後呉光新氏は遂に姿を隱し督軍代理周道剛氏も亦行衛不明となれり爾來秩序全く壞滅し掠奪放火等頻りに行はれ居留民の危險迫れるを以て各國領事は吾鎮守府使熊克武氏を訪ひ秩序維持を要求し貴州軍に對しても同樣要求する處ありたり是より先漢口より遡江したる帝國軍艦鳥羽の碇泊し居りしを以つて四日午前八時各國領事は陸戰隊の上陸を乞ひ右陸戰隊は直ちに上陸警備に當れり(重慶電報)

岳州奪取戰激烈

岳州に於ては湖南、雲貴兩軍の合併したる南軍の攻擊猛烈を加へ北軍又防戰能く努め目下激戰中なるが刻々に危機迫りつゝあり此は南軍の岳州奪取戰にして若し同地を占領せば揚子江方面に對し南軍の策源地となる可く兩軍の勝敗は重大視せらる(上海特電)

馮總統誠意を問はる

岑春煊氏は馮總統に對し未だ停戰命令を發布せざるは平和解決に就き誠意無きを疑はざるを得ずと打電し來れり(北京特電)

露獨講和談判開始

獨逸總司令部にて=露國側委員出發

露獨講和談判は二日獨軍總司令部に於て開始せらる●露國側委員は一日露都を出發せり(露都電報)

部分的休戰交涉

露軍數個師團は各部分的に休戰する協議一致したりプリペットとリパとの中間にある露軍及び司令官數名は休戰に決し交涉進行中なり一般休戰準備の爲め露軍特派員は巴威軍司令官レオポルト公の本營に到着したり(倫敦電報)

露憲法會議開會

露國憲法會議は十二月十一日露都に開會せらるべし(露都電報)

巴里會議參加者は重罪

過激派外務長官ツロツキー氏はマクラコフ氏の巴里聯合國會議に參加するは之國法に違反するものにして重罪に處す可しと宣言せり(露都電報)

杉博士卒去

統計學の泰斗たる帝國學士院會員法學博士杉亨二翁は病氣中の處四日午後四時小石川自邸にて卒去せり(東京特電)

商船南洋航行

大阪商船會社は來年三月より南洋諸島行定期船千噸級二隻を以て航行開始すべしと(大阪特電)

休戰交涉形勢

聯合各國對策

露國過激派政府と獨逸政府との休戰交涉は愈々十二日を以て正式に兩軍の間に協商開始せらるゝ豫定なるが獨逸政府は果して如何なる條件にて休戰に應ずるか將た又進んで單獨講和を諾するに至るべきか今は尚不明なるが獨逸國內に於ける多數團の意嚮は大體に於て露國過激派の希望に副はんとするの模樣あれど中央黨のみは露國を降伏者と看做すべしと主張し居れば獨露間の休戰交涉は世間に於て想像するが如く簡單に進捗すべしとも思はれず更に他の一方に於ては露都に於て聯合國の大公使は去月十七日及び二十五日の兩回に亙り過激派に對する今後の方策に關し協議しも未だ之に對する具體的の方策決定せざる模樣なるも大體各國の意嚮は過激派政府を承認せず今暫く形勢を傍觀する由なれば旁々以て二日の露獨休戰會議は大に刮目に値すべしと(東京)

哈爾賓市中混亂

五日午後六時哈爾賓より長[illegible]掠奪を恐れ戶を閉し大混亂を始めたり(長春特電)

藤原正文 過[illegible] 支那渡大連へ向へり(京城特電)

官營煙草値上に就て

歳入增收よりも損失補塡が目的

東亞煙草總販賣所長 馬詰次男氏談

官營煙草値上決行に就き馬詰東亞煙草總販賣所長は左の如く語る

今回の値上は明治三十八年製造專賣施行以來、第二回目の値上にて(第一回は明治四十年)理由は直に歳入の增加を目的とせるよりも寧ろ時局に伴ふ原料諸材料の騰貴に因る專賣益金減縮を相殺補塡せんとする萬已むを得ざる消極的整理に出でたるものと認むるを妥當とす現に需要最も大なる細民嗜好用下級の刻煙草「ナデシコ」を據置となせし如きは大藏省當局の言明あるが如く

▲社會政策上 深甚の考慮を拂ひたる一面に於て亦消極的整理の意味を語るものと謂ふ可し、値段引上率は前回は平均二割六七分にして最低價格の製造煙草迄も悉く値上をなせしに反し今回は平均一割七分內外に止まりたるが如し、煙草製造事業の現狀は內地專賣市場と朝鮮自由市場とを問はず等しく時局の影響を受けて原料諸材料暴騰し經營に困難を感じつゝあるは局外の想像以上にして假令ば煙草製造用の諸材料中煙草四分、紙類六分と稱せらるゝ其各種紙類は戰前に比較して數割乃至數十割方暴騰し、其他諸藥品、木材、錫類並に運賃、勞銀等の昂騰は世間周知の事實にして殊に

▲原料葉煙草 は價格騰貴と同時に供給不足のため甚しく困難を感じつゝあり蓋し開港は煙草の對抗作物たる大豆、麥、落花生等各種農作物の市價昂騰に伴ひ漸次葉煙草收納價格との均衡を失して煙草耕作地は次第に他の作物の侵害を蒙り從つて近來耕作面積維持擴張に就ては專賣局に取り非常なる困難を感じつゝありて勢ひ葉煙草收納價格引上による原料生產費は多大の膨脹を見るに至れるが如し幸ひに戰前迄は一般嗜好の向上と消費額の增進とにより專賣益金の增收を見最近約五千餘萬圓(外に關稅益金一千萬圓合計六千萬圓)に達したりしも戰役發生以後に於ては如上の事情の下に次第に

▲時局の壓迫 を蒙り終に大正六年度に於ては豫算に比して約二百餘萬圓の減收益を見るに至れるを以て終に今回の值上により消極的整理を行ふの萬已むを得ざるに至りたるものと認めらる尚煙草の值上は間接消費稅增徵なるを以て須らく議會の協贊を經べき重要性質のものなりとの世論激しき模樣なるも一片の大藏省告示を以て實施し得る所に重大なる意義あり何となれば內地市場は朝鮮と異り煙草の定値引上後は確定價品と雖も當然値上價格を以て自由に販賣し得るを以て萬一値上を議會の協贊に待つが如きことあらんか專賣市場なるを以て彼の砂糖消費稅增徵の際に於けるよりも數十倍以上に忽ち煙草の

▲買占賣惜み をなすものゝ簇出し弊害百端到底收拾すべからず、或は數箇月間煙草の飢饉を見るが如き變態を見るに至るやも測られず、現に明治四十年及び今回の値上共に大藏省告示を以て疾風迅雷的に之を發表即日より施行せしに拘らず時勢商機を達觀せる商賈の間には多少の買占、賣惜みが行はれたるが如く先日迄內地の敷島、朝日品切れを耳にせるは遺憾の消息を語るものならん、蓋し商機の活殺を議會の協贊に一任するが如きは痴人夢を語るの類のみ而して今回の値上は

▲物價調節令 に矛盾せるが如き說をなすものあるも之れ一種の間接消費稅にして又煙草其ものは贅澤品なるを以て毫も彼此撑格を生ずる事なし又本月一日よりの値上は其時期に於て恰も煙草の最大需要季節たる所謂煙草『シーズン』に當るを以て値上の目的を達する上には固より機會を把握せるものと謂ふを得べし

清會線行(8)

別府生

▽吉會鐵道問題

▲清津刻下の重要問題は詮じ詰むると下の四つに過ぎぬと思ふ、乃ち清會鐵道の敷設、清津港灣の改良、咸鏡線の永興延長、日本海横斷航路である

▲清津の希望しつゝある商業銀行とか、測候所とか、ヤレ海面埋立とか云ふ自余十數の施設は以上四つの問題が対望に解決すると云はなくとも自然に備はつて來る從屬的のものと見て差支へない

目下の所未だ敷設に何等事實上の氣勢は見へない、唯日露の役後、吾國が日支合辦の下に該線敷設權を收めてゐる事並に技師長は日本人を以て之れに充つる事等が支那との間に定つてゐるだけである

▲然し機運は徐ろに該線の敷設を近からしめつゝあるやうに思ふ、乃ち清會線の全通はそれである、吉長鐵道の滿鐵委托經營はそれである、清會線は碩や谷を過ぎた鐵道で、鐵道其者として見れば、巨費を投じ建設した程多くの價値はないやうである

▲唯之が聽て吉會線に連接し一國際鐵道となると云ふ事が、清會線に深かい意義と價値を附するのである、吉會線が建設ねば清會線の生命の一半は殺れてゐると云つても甚しい過言でないのである

▲又本年一月から滿鐵は支那側より吉長線經營權を收めた、乃ち滿鐵の手は會寧と吉林に延びて行つた、其の間二百餘哩の鐵道は、吉林省產業開發と云ふ意味からのみ云つても建設されねばなるまい、況んや吉會線は經濟上の關係以外に頗る重要な意義を含んでゐるに於ておや

▲敷設權も一半吾れの手にあり、而して機運は前述の如し、乃ち膳は据ゑられてゐる、唯今日大して食ふかと云ふ事は、コレを如何にした問題でないのじやあるまいか、唯ドコでやるか如何なる組織にするかが、決定れば問題は解決するのである、世上滿鐵は、本線を敷設し、北滿物資の清津吞吐を見るに至らば、大連の繁榮に關すると云ふ點から躊躇し又寧ろ反對してゐるらしいと云ふ者もある、然しそれは滿鐵が大勢に逆行するものとなし又餘りに滿鐵を小さく見過ぎた言でない乎

▲鮮滿蒙は乃ち吾が帝國の一大勢力圈内である、その間の貨客の異動が交通機關完成の結果部分的に若干の變化を見る如き事は當然である、それを四の五の云ふのは尻の穴の小さい話しだ

▲滿鐵がさうした短見に拘はれずある事は中村都督や、國澤理事長吉會線の敷設に付相當對策しつゝや、久保理事の言說により記者の信じて疑はない所である

英軍敵猛襲擊退

英軍はマ[illegible]ルにて敵の猛烈なる攻擊を擊退せり(倫敦電報)

英衛生大臣新設

英國にては醫業官營に先ち一般に對する無料治療の案建議せられ新たに衛生大臣任命されたり(倫敦電報)

米豫算百三十億

米國議會に提出されたる豫算は百三十五億弗にして米國有史以來の多額なり右の內百十億は戰時費にして內陸軍經常費六十六億弗、海軍經常費十億弗、航空費十二億弗餘を計上せり(華盛頓電報)

凄慘なる獨軍逆襲

獨軍はヴアンクエリー地方カンブレー附近に於ける獨軍最近の逆襲の如きは二十個師團を以て殺到し來れるものにして凄慘なる勢力を浪費して餘す所無きもの頑強なる攻擊を爲せり三日朝ルブル第三回戰之に匹敵す可し然も英軍の士氣旺盛にして敵は多數の死者を殘して退却しつゝあり(倫敦電報)

鰯罐詰有望

歐亂の結果歐米諸國にては罐詰の需要を激增したる爲め近時[illegible]鰯罐詰業は著しく好況を呈し殊に最近英佛米の[illegible]下に於ける[illegible]人組合の[illegible]は未曾有の繁忙を呈し其他熊本及び長崎縣下の同業者も目下到底先方の註文に應じきれざる有樣なるを以て鮮の[illegible]地たる[illegible]島郡に於ても[illegible]開催中なるが同事業は漁家の副業として最も適當なれば一には漁村經濟上一には本邦輸出水產物として最も有望なるべく殊に朝鮮の如く豐富なる鰯の漁獲地にて罐詰業を起すは前途頗る有望なるべしと

征虎團出發

山本征虎團幹部及び觀戰記者團は六日午前八時四十分南大門驛發釜山行列車にて愈々內地凱旋の途に就くべく途中山本氏は其の[illegible]

趙子爵の催宴

趙重應子爵は五日の夜[illegible]三郎氏外數氏を明月館に招待し[illegible]

人事消息

▲工藤英一氏(平南道長官) 五日入京南尾へ ▲木島[illegible]氏([illegible]) 同上 ▲[illegible]太郎氏([illegible]) 同山本へ ▲神林啓太郎氏([illegible]) 同日退京

安藤[illegible]三郎氏は今回[illegible]

■百舌鳥■

日本歷史地理學會の民族講演會の席上司會者が『歷史の硏究は其の根本を民族に措かざるべからず』云々と述べると▲其れを聞いた例の坪井九三博士はヤオラ起ち上つて『米國の州にオハイオと云ふがある日本で同一と云ふと皆樣がドッと笑はれるであらう英語一つで語源とか何とか申されるのは片腹痛い▲有象無象が民族々々と云ふが何アにるもんですか▲史學たるや人はイヤでもオウでもやらにやならんが『値は厄介千萬です』と氣焰萬丈其の處等に當り散した▲或る人が後で博士に何故彼の樣な事を云つたかと聞くと▲『何アに彼は民族々々とガヤ々々八釜敷云ふので五月蠅から云つたんですハツハヽヽヽは人が惡い▲戰爭のお蔭で慘めな目に遇つたのは露帝と希臘王とであるが▲露帝は一般の市民同樣ブレッド、カードを貰つて其の日を送つて居る相だ

■重要電報欄外にあり

見込なりと▲一府五郡品評會 來期以上の好果にて販賣先に苦心せる程の狀況なり▲地稅制定額[illegible]

僞手紙三千圓

[illegible]

玉突競技大會 カフエーエビス 京城本町 [illegible]

轉居 安藤又三郎

公債株式現物 六十七回 [illegible]

兩替開始 十四間商店

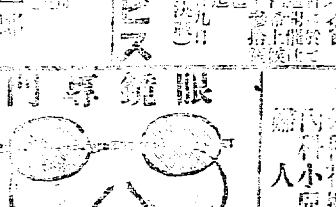
在鮮人士の必讀せざるべからざる二大珍書 評判 [illegible] 第七版 法律上 唯一 定價七拾錢 送料六錢 定價五拾五錢

井之山治麟氏二大著書 朝鮮古書熟字俗字 慣習風俗志

一手販賣所 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城南山町二丁目 宮崎醫院 電話三〇六八番 內科 小兒科 花柳病 入院

眼鏡專門 宮川大學堂 京城南大門通二丁目二二番地 電話二九五九番 振替京城壹壹弐九番



朝鮮銀行 當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ取扱申候 支店 東京、大阪、神戸、仁川、元山、大邱、釜山、平壤、鎭南浦、群山、木浦、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、吉林、哈爾賓、開原、四平街、龍井村、青島 出張所 [illegible] 其外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

醇良無双清酒 無害衛生品質無双 元造釀 首藤合名會社 元賣發 首藤京城支店 首藤釜山支店

イケダ小兒病內科醫院 池田季雄 京城黃金町四丁目 電話三三四番

……轉戰す可く命令せり露外務省はハルビン露軍は各國領事團に向け二週間内は哈爾賓の秩序を維持す可きも其後の事に至りては保證の限りに非ずと言明せるに依り全哈爾賓の在住民は暴徒の……

……浦に立寄り六日午後……過北京へ向ふ筈（安東縣特電）

●岸滿鐵社員 岸滿鐵業務研究所員は五日午後八時……當地通……

……にては管内各地農民に對し極力陸地棉の栽培奬勵中なるが其結果年々作付反別增加し本年の如きは收穫高三千五百餘圓に上る

……せん計畫あり目下……山府に於て各郡と打合中なり▲晝田好況 昌原郡内に於ける各晝田は近來降雨鮮なき爲め順調にて各晝田共收穫豫……

……一坪此税額八萬五千三百五十……十一錢にして内既に調定せる第一期分四萬二千六百七十五圓四十四錢なるが前年と大差なしと▲……

……別會を開催したり▲……休兵の歸還 當地重砲兵大隊歸休兵十二名は三十日午前九時五分發列車にて歸還せり

……の仲買をなし居るを探知し良源より……印を僞造し信川にて穀百五十石を買ひ三隅二百圓を入れたるも殘四百圓不足するにつき其送金……

……四百圓を發送せんとする際良源より送金ありとて送金し來りしより茲に送金の怪しむ所となりて遂に資金の詐造を發見せしが此の事實を……

虎料理はひつ

▽山本征虎軍の凱旋會

…山縣政務總監以下の主なる官民を招待して他に類のない珍宴會…

征虎軍凱旋會は午後五時半より朝鮮ホテルに於て開催された、來賓としては山縣政務總監、松川軍司令官を始めとして各部長官、朝鮮銀行會社の長其他主立たる官民並に從軍記者團、京城記者團等主客合して約百名談話室に於て小憩の後六時

◇ピアノの音 に送られて晩餐會場に入る席定まれば征虎軍の獲物に依つて調理された膳肝、猪などの皿が出で當夜の珍味たる虎肉の皿が出ると主客共に好奇の眼が輝やいて何れもフォーク繩かに味つては『虎は死して肉を喰る』など、

◇諧謔を百發 する皿の響きフォークの音、賑やかな談笑の裡に音樂隊の奏する朗晩たる音樂は明るい空氣を漲はして凱旋氣分を喚る、デザートコースに入るや拍手と共に山本唯三郎氏立つて征虎軍に對する官民の援助に對し感謝の辭あつて後今回の虎狩に於て虎を獲る事は決して困難でもなければ危險でもないと言ふ

◇確信を得た がそれと共に虎狩をなすには須らく斷乎絶望を擧ち千山萬嶽を跋渉し得る丈けの體力と心膽とを錬らねばならぬ事、村落宿營を棄て、天幕露營をなし砲手に隨つて如何なる山中に於ても露營をせねばならぬ事を痛切に感じたりと經驗談を陳べて腰を下せば

◇山縣總監起 つて『征虎軍が出發前虎を獲つて馳走すると言ふので吾々は頸を長くして待つて居たが果して三頭の虎と一頭の豹と其他の獲物を山と積んで凱旋し約束通り虎の御馳走になる事の出來たのは吾々の最も嬉しく感ずる處である、而して此の約束を履行せしめたのは誰でもない撃たれた虎である虎が若し撃たれて呉れなかつたならば

◇馳走もフイ になつて了つた事であらうと思へば吾々は先以て虎にお禮を申さねばならぬ處で虎に言はせると我輩も征虎軍の大敵を引受けて名譽の戰死を遂げたのであるから其の御挨拶には及びませぬ寧ろ本懐を遂げて

◇光榮と感謝 を感じて居りますとでも言つてゐるに遊ひない、又山本君も目的通り虎の肉の御馳走をする事が出來たので大いに悦んで居るから本夕は三拍子揃つた譯で、彼なに目出度い宴會が開かれた事は

◇恐らく空前 であらうと思ふ來年も亦虎狩の壯擧を企てる相であるが次回は虎の最も多い咸北の山岳を狩立て、再び本食堂で虎の肉の御馳走に預りたい』と諧謔裡に挨拶を了れば拍手喝采、天井くが如く起る聲ひで大垣丈夫、田村記者團長兩氏のテーブルスピーチがあつて後歡談裡に談話室に流れ込む談話室では

◇藝妓の餘興 があり記者團の征虎の歌や虎來い節凱旋歌の盛んな合唱があつて最後に山岡萬朝子の作山本征虎軍いそ節

（一）征虎軍なら獲物は虎よ、狩つた獲物は [illegible]

（二）三千餘頭の獲物の山を [illegible]

（三）[illegible]

（四）[illegible] 名所は金剛山よ [illegible]

（五）[illegible] 征虎軍

で美しい舞妓の踊りがあつて大喝采裡に散會したのは八時半頃であつた。

和船轉覆して六名行衞不明

馬山灣内の椿事＝四十名の遭難

四日午後九時頃馬山發鎮海行和船より馬山灣内にて轉覆し四十名の内中なるが内三十四名は發見せられたるも尚六名は不明なりと（馬山特電）

白川組事件の解決

白川友一氏の主宰する白川組が京釜線大田增若間の改良工事を中止したる事は賃金品並に工賃支拂等の關係より

▲大田地方 の財界に甚大の影響を與へたるが其の善後策に付先月東京にて白川氏は國澤滿鐵理事長と會見大體の解決點を見出し更に過般來入京の上京管局當者と商議中なりしが四日白川氏の請負は示談解約とし滿鐵より白川氏が施工上設備せし機械器具代其他の代償として十五萬一千圓を白川氏に交付全く解決、氏は四日夜龍山の郷里に向へるが其の

▲車中談 によれば大田增若間の改良工事はトンネルの開掘に豫期以上非常の手を要すると工事用品が何れも數倍に暴騰せるため到底當初の請負金額にては工事施工不可能となりしなり予は工事の中止前下請に對しも約十萬圓の貸金を有せしが今回十五萬一千圓を滿鐵より据付機械代其他として入手せしに付此内更に四萬餘圓を下請けに渡し大田地方に於て該工事のために迷惑を破せし向の

▲支拂全部 を皆濟せしむる事となしたり云々尚ほ滿鐵にては白川組解約後の改良工事は請負ひに附するか又は直營にて之れを行ふか目下の所決定し居らず但し近く何等か處置を執るべしと鷲尾庶務課長は語れり

格鬪して逮捕す

江原道横城郡横城面外田里趙敬三事趙永甫（二二）は外二名と共謀し本年一月九日夜洪川郡泳歸美面城谷洞飲食店崔伸善（四二）方に侵入し仲善夫妻を縛り上げて亂打し現金十四圓除衣類雜品等十數點を強奪して逃亡し永甫は十一月末原州郡所草面蒼岩里の妻の實家に潜伏中を原州憲兵分隊にて探知し同上等兵が補助員一名を隨へ逮捕に向ひたるに早くも逃走を企て同里の山中にて捕縛せんとしたるに強力なる同人は激しく抵抗し格鬪中上等兵に咬みつきしも遂に逮捕され目下留置取調べ中

妻を撲殺す

黄海道谷山郡生れの韓泰興（三五）は江原道伊川郡熊灘面楷田洞呉姓女の婿養子として入家同棲中大正三年十二月三十一日午後三時頃呉姓女と喧嘩の末互に谷山憲兵分隊に訴ふべしと倶に赴く途中又も路上にて格鬪し泰興は遂に呉姓女を毆り殺し其の儘逃走して姿を晦ましゐたるも此程舞ひ戻たる所を伊川分遣所坪里派遣所の手に逮捕さる

一風變つた文豪の墓

漱石氏一周忌

『我輩は猫』の夏目漱石氏逝いて既に一年、十二月の九日は明治文壇の巨星地に墜ちて知るも知らぬも涙を濺いだ日である。東京牛込早稲田南町の夏目家では其一周忌までに雜司ケ谷の墓地に建碑する筈で、鏡子未亡人から漱石氏令妹の夫君なる名古屋高等工業學校教授工學士鈴木禎二氏に謀り鈴木氏の設計に基いて和洋折衷の墓石を建てる事となり十月の廿日頃から其

▲工事に著手 した。碑は茨城産の俗に常陸御影石と云ふ花崗石で碑身五尺六寸、笠石高さ一尺、前面には夏目家の井桁に菊の紋を刻み、價格千五百圓、日本には未だ曾て見ぬ風變りの碑石である碑面の文字は漱石氏の親友なる東京第一高等學校教授白雲道人菅虎雄氏が毫筆を揮つた『文獻院古道漱石居士』『未亡人の『圓明院清淨鏡大姉』なる法名が彫り付けられ工事掛なる京橋區本八丁堀三丁目中野喜三郎氏方では

▲仕上を急い で居るが來月七日迄には建碑の運びになるのだと。霜月の末のある日、早稲田大學に近い南町の閑居に鏡子未亡人を訪れる。南向きの縁に暖かい秋の陽が一杯に射して漱石氏が好みの樹石の面白い前栽を眺めて、彼の『明暗』を執筆された氏の書齋は在世當時の儘で和洋の書籍山と積まれて整然と有りし昔を偲ぶのか、黒木の机の傍には釜に湯が沸つて松風の音もしめやかであつた。書齋に隣る一室には漱石氏の寫眞を飾り、正面には支那革命の元勲故黄興氏の筆に成る『文章千古事』の一軸を掲げ、四箇の大書棚には

▲金文字の書 でギッシリ一杯、何樣一世の文豪の書齋と首肯かしめる。未亡人に代り若い書生さんが應接に出る、一周忌には鎌倉圓覺寺の釋宗演師が大導師を勤められるとか、黄興氏の筆は漱石氏の門下で黄興の知遇を得て居たある學生が『先生の爲めに何か一筆』と頼んだ處『ウム彼の我輩は猫の先生か』と健筆を揮つて呉れたのだと語る。黄興の死を聞いた時、漱石氏は [illegible] 軸を眺めて感慨無量であつたが其人も亦小説 [illegible] の途に就いたのである（東京）

政府を食糧攻にする

——無秩序だが秩序のある露都——

◇◇南方克薩哥兵の計畫◇◇

駐瑞公使館附武官 井出海軍中佐談

瑞典駐劄公使館附武官海軍中佐井手光輝氏は歸國の途次五日午後六時半安東驛通過南行せるが其車中談の一節に曰く『露都の滯在は一週間なりしを以て語る可き材料尠し唯目下

▽過激派 が勢力を占め居れる爲め勞兵會の勢力又極めて盛なり市中にては美衣美服を著けたる者を見ず市内は無警察の狀態なりと雖も軍隊勞兵會の爲め稍秩序を保ち居れるが不思議に思はるゝ位なり旅券の如き個人としては到底手に入る、能はず強いて求めんとせば東京迄

▽一千留 を要す可し又聯合國大公使は全く現在の政府とは公文書を往復し居らず爲さば自然現政府を認むる事となるを慮れてなり交通々信機關なども殆んどお話にならず、市内は暗黒にて夜間個人の往復なども極めて困難にして食糧品は缺乏し麵麭に水を注して

▽量目を 增し居れり、現政府は必ず單獨講和を爲す可くケレンスキー氏は再び立つ能はざるが如し只哥薩克隊長が目下南方に勢力を占め現政府を食糧攻めにせんと計畫しつゝあれば其の結果が見物なりされど一般露人は血を見ざる革命として誇り居る有樣なるが兎に角目下のところ一定の方針も主義も無く所謂事大思想に左右され居れりと見ば大過無からん（安東縣特電）

爾靈山占領の激戰を其儘に

旅順聯隊の演習

十二月五日は日露戰役に我軍が二百三高地を占領し旅順の死命を制したる記念日なるを以て在旅順歩兵第二十八聯隊は午前八時より聯隊長指揮の下に機關銃隊參加して當時の激戰を模して演習を行ひ午後山上の忠魂碑に參拜せり（大連特電）

露國休戰委員

元はボーイ

北京駐在露國領事ガヨードザエフの談に依れば今回獨逸に派遣されたる露國休戰委員たるウラジミル・シュナイアー氏は曾て東京にてボーイを勤め居たりし人なりと（北京特電）

豹を射止む

本田組の手柄

本田三郎氏の征虎隊砲手連は今北靑の險山峻谷を跋渉、狩猟に從事し居るが本田砲手を隊長とする一隊は四日午後三時頃咸南北靑郡内面南山里黄德山中に於て大豹を發見、首尾好く之を仕止めたり胴丈四尺二寸の逸物にて彈丸一發を首に中てたるもの旨五日征虎隊本部へ通報ありしと

聯合擊劍納會

京城府内各署聯合擊劍納會は京畿道警務部主催にて來る十六日午前九時より聯合演武會を奉行の筈にて當日は古海總監臨席す可く演武參加者は京城分隊二十五名龍山分隊十四名昌德宮警察署三十四名本町署六十三名鍾路署八名道警務部三十名にして擊劍百二十三組柔道十四組の試合あるべし

五風十雨の話（五）

京城測候所長 高島□正氏談

◎朝鮮の三寒四溫と

◆高氣壓の域内 に自分が在るといふ事が何故判るかといふに左の三通りの原因があるからである。

第一は低氣壓が二個以上現はれた時其の間に高氣壓が出來る、之は低氣壓の外部で空氣が上層から下つて來るから之が元になりて高氣壓となるのである。

第二は地面が輻射の爲め非常に冷却する所があると其の空氣が收縮するから上の方では周りから空氣が流込んで來る、それが爲に下の方では氣壓が增して高氣壓となるのである。

第三はチト面倒であるが一口に云ふと冬になると南極地方と赤道地方との溫度の差が大層著しくなる、すると之が爲に起つて來るもの [illegible]

◆凡四通あつて（一）は日本内地本部の内陸が冷却して生ずるもので之は信濃飛驒地方の高原又は北朝鮮の中央に出來ることが多い、此の高氣壓は概ね時間的に最も [illegible] 移動せず [illegible] 良好であるが、極く狹い [illegible] 一トランシエント（？）タス）が能く [illegible]（二）は [illegible] 高域が非常に廣く擴がつて

◆日本一杯に擴 がる事がある（二）は春季よく盛んに現はれるものである、之は太平洋方面に流れ去るのである、其の頭は北部支那大陸で氣壓が低く、太平洋にて高くなり、大陸より高に移る時季であるから反對に低より高に移る時季である此の變化 [illegible] 域内では天氣晴朗にして風は [illegible] なく日中はポカ／＼暖かい [illegible] 低氣壓の方へ流れるが是れが現はれる [illegible] 其の

◆後から低氣壓 が進んで來るから十中の八九まで天氣が變化する、それ故昔から空が綺麗過ぎて長閑な陽氣になると天氣が變つて來ると云傳へられてゐるのは誠に穿ち得た經驗である（三）は冬季及び春季に於ては西比利亞地方に大なる高氣壓が起る之は

◆殆ど半永久的 なもので之が日々に發達したり衰へたりするから其の勢力も毎日變り其の優勢なる時は支那本土は勿論日本内地の西部にまで擴がつて來るので、さうすると此の方面の氣壓が非常に高くなつて來る、之は冬季低氣壓が日本の近傍を通つて對馬邊に去つて了つた時に起る事が多い、其の時は日本内地各所とも北西の寒風が吹き荒んで『寒波』即ちコールドウエーブを起すのである。

金鎖と平壤栗

間違ひから警察沙汰

[illegible] 一人の紳士 [illegible] 金鎖を註文して往つたそれから幾日かを經て一人の商店の小僧が受取證を持つて來て其の金鎖を取りに來た、ところが [illegible]

◆その小僧を元の註文主とはあまり釣り合が [illegible]

[illegible]

◆ところがその女郎は驚きもせず笑ひながら [illegible]

◆そこでその紳士も [illegible] 大商店に [illegible]

[illegible]

緊急廣告

歳末に際し例により十五日以後文非常に輻輳し自然往々日遲延の恐れ可有之候故此の御急ぎの御注文は [illegible] 下命仰付被下度此段 [illegible]

京城日報社 [illegible]

京日案內

[illegible]

第十五期決算公告

[illegible]

前記配當金一株ニ付 [illegible] 九月一日ヨリ御渡シ可申候

取締役社長		中内久太郎
		中内卯三郎
		上田虎次
		國吉虎太郎
		土居豐助
		[illegible]三郎
大阪支店長		中内松次
伊野支店長		森本直之助
京城支店長		宇田龜吉
横濱支店長		長野嘉吉
佐川支店長		矢野鶴吉
監理部長		宇田龜代滿
常任監査役		高根因平
監査役		上作次郎
同		曾田通經

支店所在地

伊野支店	高知縣吾川郡伊野町
旭支店	同縣土佐郡旭村
高知支店	高知市堺町
大阪支店	大阪市西長堀北通三
横濱支店	横濱市境町二
藝防支店	山口縣玖珂郡和木村
京城支店	京城府南大門通二
佐川支店	高知縣高岡郡佐川町

店員數名募集 本人來談 京城本町二 海市商會 124

店員入用 急至 二十歳より二十六歳迄二名 希望者本人來談 市内要保證人 京城本町一丁目 織田東洋舘

恩給年金立替 [illegible] 西村商會 116

店員入用 但日本人に限る 英鮮語を解する者一名採用す 希望者履歷書携帯 [illegible] 博多屋 110

恩給年金立替 [illegible]

鐵砲火藥獵具 [illegible] 龍川銃砲店

[illegible] 高木旅行用具店

魔法瓶 [illegible]

[illegible]

支店長 募集

支局主任も採用す

今回朝鮮、滿洲の樞要なる都市に於て店舗新設の地に支店及び支局新設に付き月給制支店長二名、歩合制支局主任數名至急募集す。

月給參拾圓以上六拾圓まで

支店長は左に適合するを要す。

一 身元確實品行方正なる者。

二 普通教育有りて錦香巧みの者。

三 年齡二十五歳以上五十歳以下にて業務上に障害を及ぼす疾患無き者。但相當の履歷ありて適當と認むる者は此限に非ず。

四 有妻者にて八百圓以上の保證金を納入し得る者。

◎支局主任は保證金を要せず二三百圓の資金を投じ得れば可なり希望者は自筆履歷書及戸籍謄本携帯左記へ本人來談あれ。

京城黄金町三丁目電車通り

大阪 ドラッグ商會

（ドラッグ商會滿鮮監督駐在所）

胃つぎ（うちみ）治療 明治町ふらんす教會前 荒川仁壽堂 電二五九五番

特約販賣人募集 各道廳郡廳 朝鮮各道面 東洋拓殖會社 各郡水利組合 其他 御用達

專賣特許 背津式繩叺機械 大邱府元町二丁目 東屋商店

御名刺印刷 [illegible] 中田普成社 電話二一〇五番

事業 [illegible] 京都 [illegible] 會社

櫻御殿

第八十七回　大阪　霞の家主人

秋の潮(九)

『さらば和御寮の言ふ詞に從うて和御寮の在所へ行かうぞよ』

初瀬が斯う云つたは、國泰寺の鐘の音が亥刻を知らせた時であつた、行燈の灯がじわ〳〵と燒け焦れて、極月末の寒さが犇々と迫つて來る

『ね』とお筆は飛び立つやうに

『わたくしの在所へ？お越したされて下さりまするか』

『わしが死んでは、徒々に御迷惑が掛らうで、殘念ながら生き殘る、その代り、此の姿ではならぬ、初瀬が生きては、聯左衛門様の武士が廢らう、由つてわしはこゝで死んでお父様のお名で生きます』

お筆は合點が行かなかつた

『それはまた何ういふ事でござります』

『今までは云はずに居たが、わしの父さまは蒲生浪人有村主膳と云はれたお方ぢや、十年前にお逝れなされたが、御姓名は殘つて居るで、今夜からそのお名をつぎ、わしは有村主膳と名乘る、女の初瀬で居ればこそ、満之亟殿にも輕せられるが、有村主膳と改名すれば押しも押されもせぬ武士ぢや、戀と共に女の名の初瀬を捨て、有村主膳と男の名になつて、犬畜生と云はれた恥を返す、それには武道も勵まねばならぬ、満之亟殿に負を取らぬやう、膽魂も鍊らねばならぬその間は和御寮の厄介ぢや』

『何處までもお世話致します、わたくしの命のある限り、兩親の貢心のある限り、きつと御先途を見屆けます、明日になつたら御當家の旦那様、此のまゝではお濟き遊ばすまい、今の間でござります、もうお覺悟なされませ』とお筆はいよ〳〵急き立つる

『まづ待ちやれ、從來の御厚恩、昨日からの御辛勞、それを此のまゝにして去つては、これこそ眞の犬畜生ぢや、切めて一筆殘す』

『さうなされませ〳〵、いかに御恩があらせられても、お命には換へられませぬ』とお筆は料紙硯を取る、お瀬は筆を走らせる

まづ此年來の親切を謝する文言、それについて急に思ひ立つことあり、只今からお暇致す、決して命を惜しむでない、數ならぬ我身の爲め、少しでも御迷惑を掛けてはならぬ、我身さへ無くば満之亟殿へ御意地もあらせられまい、されば御二方百年の壽を重ねたまふ、首級の代りに黒髪を絶ち切つて、御手許へ參らせます、これを満之亟殿へ御遣しは下されませ、女の髮は女の命、これを絶つのは、命を絶つも同様、併せて三年五年の深い戀もふつゝりと絶ち切つて、人の目にかゝらぬ處で、潔く命を捨てます、此の度の御恩はいつの世にも忘れませぬ、犬畜生と罵られた口惜しさも、魂の殘る間は忘れませぬ、この恥はいつか雪いでお目にかけます、わたくしの行方をお探し下さりまするな、初瀬の命は黒髪に籠めて置いて行きます、旦那様へも、采女どのへもよきにお傳へ下さりませ、との意味を細々と認めて、それをきつと封じ置き、やがて短刀を引き拔いて、あッと云ふ間に黒髪を絶ち切つた。お筆は見るより驚いて

『旦那様、何を爲されます、勿體ない、その御髪を……』と膝行り寄る

『命の代りぢや、首の代りぢや、これを遺書に添へて殘し、聯左衛門様の御意地の立つやうに致すのぢや』と初瀬は黒髪に一筆を添へて、床の間の上に置き、『いざ』とばかりに立ち上る

『お供致します、在所へお供致します、さ、お出でなされませ』

お筆はそつと忍び出る、廊下に霜落ちて、星の光りも凍るが如くに寒い

日報俳壇

巴陵吟社詠草(慶南咸安)

紅葉

霜に染まりし丘一帶の紅葉哉　端月
舟寄せて奇岩を仰ぐ紅葉哉　同
石を切る繩に散る紅葉哉　同
一崖に棚殘せる紅葉哉　溪行
松の高きに爲紅葉ゝ鳥居哉　同
羽音靜に鳥が起ちけり櫨紅葉　同
山越え里が見え居て紅葉哉　天外
淵に落つる山段々に紅葉哉　同
嶽山の紅葉仰ぐや船の窓　同
船頭の客を待ち居る紅葉哉　溪月
草刈の鎌研いで居る紅葉哉　同
滑かに走る仲や夕紅葉　同
山宮の祭晴れたる紅葉かな　白針
山僧の庭掃いて居る紅葉哉　同
尾上霞む瀧の飛沫や夕紅葉　梅賀
湖の面に夕陽流るゝ紅葉哉　同
兩岸の紅葉に下す筏かな　千延
水車場の窓に燃ゆる蔦紅葉　同
柚人の茶を焚て居る紅葉哉　子赫
紅葉見の女籠往く麗かな　同

□葱　(十一月廿日の日付け)

音のせぬてふへした跡の葱汁熱く　浮碧樓

交番の天氣豫報過ぎ葱提げたり　華紅

新義州にて　難波英夫

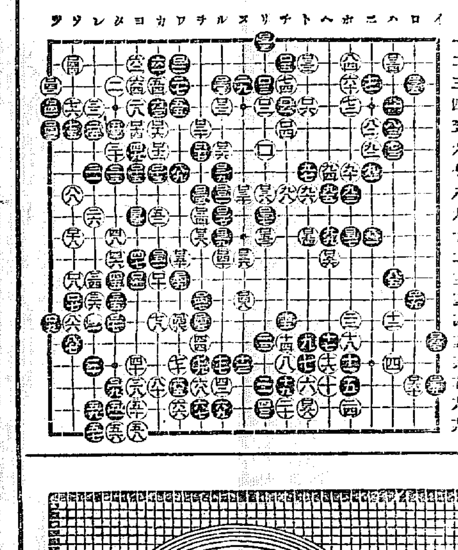
ひと夜さに鴨緑江は凍れりといふそのあしたの國境に入る

わきらこさとめにしあらばこのまゝにすはジャの國に入らましものを

圍碁手合(八)

五段 高部道平氏　先 三段 山平壽氏

黒ツの四(百四十一)よりロの十七(百六十)迄



新刊紹介

▲朝鮮及滿洲(一二一) [illegible]

▲武俠世界(十二) [illegible]

▲演藝畫報(十二) [illegible]

▲中外新論(一ノ三) [illegible]

▲新演藝(二ノ十二) [illegible]

無病長壽を希ふ人ありや
人參エキスを
親しまる方は一生健全也
[illegible]

ホーカー液　美人となる化粧料として [illegible]

大阪米

▲五日後場
▲當限 二十二圓八十一錢
▲中限 二十二圓六十六錢
▲先限 二十二圓三十二錢

十九圓八十四錢先四十八錢より五十錢あつて四十八錢後寄前跡安に先五十二錢を持合ひ結局五十二錢を打止め散會せり

▲後場中限一圓十九圓八十四錢二十錢 [illegible]

仁川取引所

五日の二月限

後場 寄付 十九圓四十八錢 止メ 十九圓五十二錢 [illegible]

大阪株式特電

五日前場 後場

宇治川 [illegible]

京阪電 [illegible]

仁川正米

同 新株 二九七〇〇

堂島米株 一七〇八〇

東京株式 [illegible]

大阪株式 一八六〇〇

薬多く氣配は保合にて定期渡米口に望み取り居れり地廻玄米も同樣定期渡し米及擧き米口に望み取り居るより氣配擾らず保合にて商ひ付けられ居れりとの事相場は地廻玄米十八圓 [illegible]

上品で美しい

お化粧の仕方

お嫁入前のお孃樣にも

新婚の若奧樣にも……

奧樣盛りの令夫人にも

何方にも一番よく似合ふ上品で美しいお化粧の仕方は……先づ【第一に】顏を生地よりも牛乳よりも遙かに有効な日本名物クラブ洗粉で能く顏を洗ひ、【第二に】一番よくきくアレ止兼用の美身劑クラブ美身クリームを襟から顏へかけて薄く引き、指先で能く擦込んでからタオルで輕く拭取り、【第三に】クラブ白粉を掌に取つて指先で能く練つてつけ、(襟は顏よりも少し濃くする事)、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、濡タオルで抑へて白粉を落付かせ、【第四に】お顏にホンノリと櫻色の健康色を添へるクラブ頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷き、【第五に】お化粧を一段と引立てるクラブ粉白粉をセーム革につけて顏に薄く打ち、襟はパフに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム革で輕く打つて置きますと、高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。」

一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉

お化粧の順序

クラブ洗粉
クラブクリーム
クラブ白粉
ぼたんはけ
水ぱふ
ぬれタオル
クラブ頬紅
クラブ粉白粉
美人